

# 茨木市の保健福祉に関するアンケート調査

〔障害者・児〕

報 告 書（一部抜粋）

令和5年（2023年）3月



茨 木 市

# 第1章 調査の概要

# 1 調査目的

本調査は、茨木市障害者施策に関する第5次長期計画・茨木市障害福祉計画（第7期）・茨木市障害児福祉計画（第3期）の策定にあたり、今後の本市の障害者地域移行や一般就労の促進などに向け、障害者のニーズを把握するとともに、障害福祉サービスなどの計画的な基盤整備を進めるための基礎資料を得ることを目的として実施した。

# 2 調査項目

## ●身体・知的・精神障害者

区分	質問項目	設問番号
アンケートの記入者		—
1 対象者の属性	年齢	問1
	性別	問2
	居住地	問3
	身体障害者手帳の有無、また、総合等級	問4
	身体障害の種類	問4-1
	療育手帳の有無、また、判定	問5
	精神障害者保健福祉手帳の有無、また、等級	問6
	精神疾患の内容	問6-1
	発達障害の有無	問7
	診断されている発達障害の疾病	問7-1
	難病認定の有無	問8
	障害支援区分の認定状況	問9
障害年金の受給状況	問10	
2 地域での暮らし方や ふだんの生活	同居家族	問11
	現在の生活場所	問12
	自宅やグループホーム等で生活するために必要なものなど	問12-1
	将来（10年後）の生活場所	問13
	平日の日中の過ごし方	問14
3 外出や社会参加の 状況	外出の頻度	問15
	外出の目的	問15-1
	外出の際の同伴者	問16
	外出先で配慮や援助してほしいところ	問17

区分	質問項目	設問番号
4 情報入手やコミュニケーションの状況	インターネット等の利用状況	問 18
	インターネット等を利用していない理由	問 18-1
	インターネット等を利用するために希望する支援	問 18-2
	必要な情報の入手先	問 19
	市が提供する情報の入手先	問 20
	市が提供する情報の提供状況	問 21
	市が提供する情報に対する希望	問 21-1
	市が提供する情報の手段	問 22
	コミュニケーションについて困っていることの有無	問 23
	コミュニケーションについて困っている内容	問 23-1
5 相談などについて	不安に感じていることや悩んでいること	問 24
	悩みごとや心配ごとの相談相手の有無	問 25
	悩みごとや心配ごとの相談相手	問 25-1
	悩みごとや心配ごとの解決方法	問 25-2
	市が整備している相談機関	問 26
	障害者相談支援事業所の利用・認知状況	問 27
	障害者相談支援事業所を知った場所など	問 27-1
	障害者相談支援事業所を利用したことがない理由	問 27-2
	利用しやすい相談機関	問 28
	障害福祉センターハートフルの認知状況	問 29
6 就労などについて	就労形態	問 30
	1か月あたりの勤務日数	問 30-1
	1日あたりの勤務時間	問 30-2
	今の職場での勤務年数	問 30-3
	月収について	問 30-4
	働くなかで困っていること	問 30-5
	現在、働いていない理由	問 31
	就労意向	問 32
	働くことに対して望むこと	問 33

区分	質問項目	設問番号
7 障害福祉サービスの利用状況	介護給付の訪問系サービスの利用状況	問 34
	介護給付の訪問系サービスを利用していない理由	問 34- 1
	介護給付の日中活動系のサービスの利用状況	問 35
	介護給付の日中活動系サービスを利用していない理由	問 35- 1
	訓練等の日中活動系サービスの利用状況	問 36
	訓練等の日中活動系サービスを利用していない理由	問 36- 1
	居住系サービスの利用状況	問 37
	居住系サービスを利用していない理由	問 37- 1
	障害児サービスの利用状況	問 38
	障害児サービスを利用していない理由	問 38- 1
	その他のサービスの利用状況	問 39
	その他のサービスを利用していない理由	問 39- 1
8 障害者に対する市民の理解、権利擁護	差別や偏見・疎外感を感じる時	問 40
	差別などいやな思いをした経験	問 41
	差別や偏見を感じた時の相談の有無	問 42
	虐待防止センターや通報ダイヤルの認知状況	問 43
	障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと	問 44
	今後の障害者施策に望むこと	問 45
	成年後見制度の認知状況	問 46
9 災害時の避難等	災害時の避難行動先	問 47
	自力避難	問 48
	近くに助けてくれる人の有無	問 49
	災害時の支援希望	問 49- 1
	避難所で過ごす際に不安なこと	問 50
10 介助者（介護者）の状況	主な介助者（介護者）	問 51
	主な介助者（介護者）の年齢	問 51- 1
	1日あたりの介助（介護）時間	問 51- 2
	介助（介護）を行ううえで困っていること	問 51- 3
	家族以外に手助けなどしてもらえたら助かること	問 51- 4
11 共生社会の実現に向けたまちづくり	日常の暮らしの中での経験	問 52
	その他経験したこと	問 52- 1
12 自由意見		問 53

●精神障害者（入院患者）

区分	質問項目	設問番号
アンケートの記入者		—
1 対象者の属性	居住地	問 1
	年齢	問 2
	性別	問 3
	精神障害者保健福祉手帳の有無、また、等級	問 4
	精神疾患の内容	問 4-1
	身体障害者手帳の有無、また、総合等級	問 5
	身体障害の種類	問 5-1
	療育手帳の有無、また、判定	問 6
2 入院前の生活状況	入院直前の住まい	問 7
	入院直前の同居家族	問 7-1
	入院期間	問 8
3 退院後の生活	退院意向	問 9
	退院する際に希望する支援や環境	問 10
	地域移行支援の認知状況	問 11
	将来（3年後）の生活場所	問 12
	退院後に利用したいサービス	問 12-1
	退院後に日々の暮らしの中でやってみたいこと	問 13
	退院後の生活で不安や心配に感じる事	問 14
4 相談などについて	悩みごとや心配ごとの相談相手の有無	問 15
	悩みごとや心配ごとの相談相手	問 15-1
	悩みごとや心配ごとの解決方法	問 15-2
	悩みごとの相談意向	問 16
	茨木市障害者基幹相談支援センターや精神障害者相談支援センターの利用・認知状況	問 17
	茨木市障害者基幹相談支援センターや精神障害者相談支援センターを利用したことがない理由	問 17-1
	障害者相談支援事業所の利用・認知状況	問 18
	障害者相談支援事業所を利用したことがない理由	問 18-1
	利用しやすい相談機関	問 19
5 障害者に対する市民の理解、権利擁護	差別や偏見・疎外感を感じる時	問 20
	差別などいやな行為を受けた経験	問 21
	障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと	問 22
	今後の障害者施策に望むこと	問 23
6 自由意見		問 24

●就労支援事業所利用者

区分	質問項目	設問番号
アンケートの記入者		—
1 対象者の属性	年齢	問1
	性別	問2
	居住地	問3
	身体障害者手帳の有無、また、総合等級	問4
	身体障害の種類	問4-1
	療育手帳の有無、また、判定	問5
	精神障害者保健福祉手帳の有無、また、等級	問6
	障害支援区分の認定状況	問7
2 就労について	利用している障害福祉サービス	問8
	就労意向	問9
	希望する就労時間	問10
	障害者が就労する上で必要な環境	問11
	就労支援機関の登録状況	問12
	庁内職場実習の参加状況	問13
	庁内職場実習に参加しない理由	問13-1
	就職したくない理由	問14

●障害児通所支援等利用者

区分	質問項目	設問番号
1 対象者の属性	居住小学校区	問1
	アンケートの記入者	問2
	子どもの年齢	問3
	子どもの人数と末子の年齢	問4
	子どもの所属先	問5
	同居の状況	問6
	子育てや教育を主に行っている人	問7
	子どものことで手助けしてもらえる人	問8
2 相談	子育てや教育について気軽に相談できる相手や場所の有無	問9
	気軽に相談できる相手や場所	問9-1
	気軽に相談できる相手がない・場所がない理由	問9-2
3 就労状況	母親の就労状況	問10
	父親の就労状況	問11
	現在働いていない母親・父親の就労意向	問12

区分	質問項目	設問番号
4 通所サービス等の利用	現在利用しているサービス	問 13
	今後利用したいサービス	問 13-1
	利用している通所サービス等の利用のきっかけ	問 14
	通所サービス等の利用開始までの期間	問 15
	通所サービス等の利用日・利用時間	問 16
	通所サービス等の利用期間	問 17
	療育の種類	問 18
	児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービスの満足度	問 19
	保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援の満足度	問 20
	障害児相談支援の満足度	問 21
	通所サービス等の今後の利用意向	問 22
	通所サービス等を利用する際に重視すること	問 23
	通所サービス等以外で現在利用しているサービス	問 24
	地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等の利用状況	問 25
地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等を現在利用していない理由	問 25-1	
5 障害者手帳	障害者手帳の所有状況	問 26
	所有している障害者手帳の種類	問 26-1
	障害者手帳を持っていない理由	問 26-2
6 医療機関での診断	医療機関の診断状況	問 27
	診断を受けたときの年齢	問 27-1
7 子育て支援や障害福祉サービス等	子育て支援や障害福祉サービス等の認知度・利用意向	問 28
	いばらきっ子ファイルの活用状況	問 29
	いばらきっ子ファイルを活用していない理由	問 29-1
	いばらきっ子ファイルの改善点	問 30
	話し合いや情報の共有等の状況	問 31
	今までに参加した学習会や研修会等	問 32
	子どもに関する悩みごとの内容	問 33
8 自由意見		問 34



## 3

## 調査設計及び回収結果

## ●身体・知的・精神障害者

調査対象	身体障害者手帳もしくは療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方
調査方法	郵送配布、郵送及びWeb回収
調査期間	令和4年（2022年）10月31日～11月22日
配布数	1,800人
有効回答数	1,074人（郵送：868人、Web：206人）
有効回答率	59.7%

## ●精神障害者（入院患者）

調査対象	精神科病院に入院されている方
調査方法	直接配布、直接回収
調査期間	令和4年（2022年）10月31日～11月22日
配布数	300人
有効回答数	52人
有効回答率	17.3%

## ●就労支援事業所利用者

調査対象	市内の就労支援事業所に通われている方
調査方法	郵送配布、郵送及びWeb回収
調査期間	令和4年（2022年）10月31日～11月22日
配布数	400人
有効回答数	271人（郵送：242人、Web：29人）
有効回答率	67.8%

## ●障害児通所支援等利用者

調査対象	障害児通所支援等を利用している方
調査方法	郵送配布、郵送及びWeb回収
調査期間	令和4年（2022年）10月31日～11月22日
配布数	500人
有効回答数	328人（郵送：193人、Web：135人）
有効回答率	65.6%

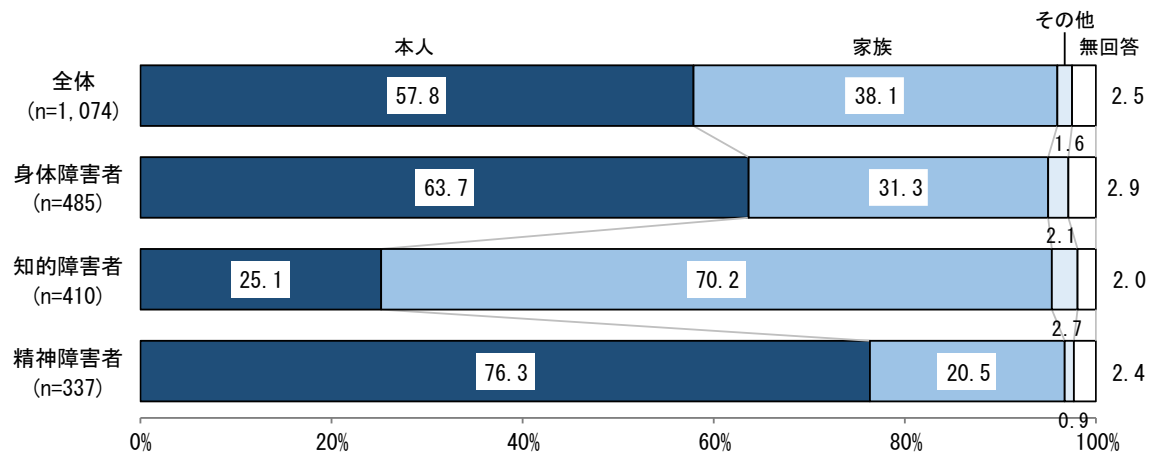
## 第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

このアンケートをご記入いただく方についてお答えください。

○は1つだけ

アンケートの記入者について、「本人」が57.8%で最も多く、次いで「家族」が38.1%、「その他」が1.6%となっており、「その他」の内容として「施設職員」「生活支援員」「入所施設相談員」がありました。

障害種別でみると、「身体障害者」では「本人」が63.7%で最も多く、「知的障害者」では「家族」が70.2%で最も多く、「精神障害者」では「本人」が76.3%で最も多くなっています。



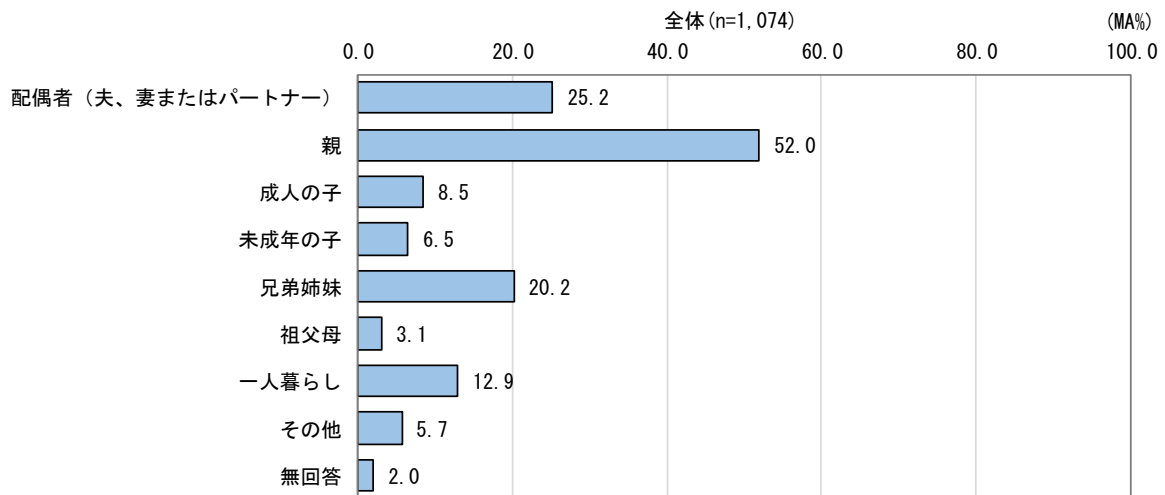
## 2

# 地域での暮らし方やふだんの生活

## (1) 同居家族

**問 11** あなたは、どなたと暮らしていますか。あなたからみた関係でお答えください。 ○はいくつでも

同居家族について、「親」が52.0%で最も多く、次いで「配偶者(夫、妻またはパートナー)」が25.2%、「兄弟姉妹」が20.2%となっており、「その他」の内容として「施設」「グループホーム」「病院」などがありました。

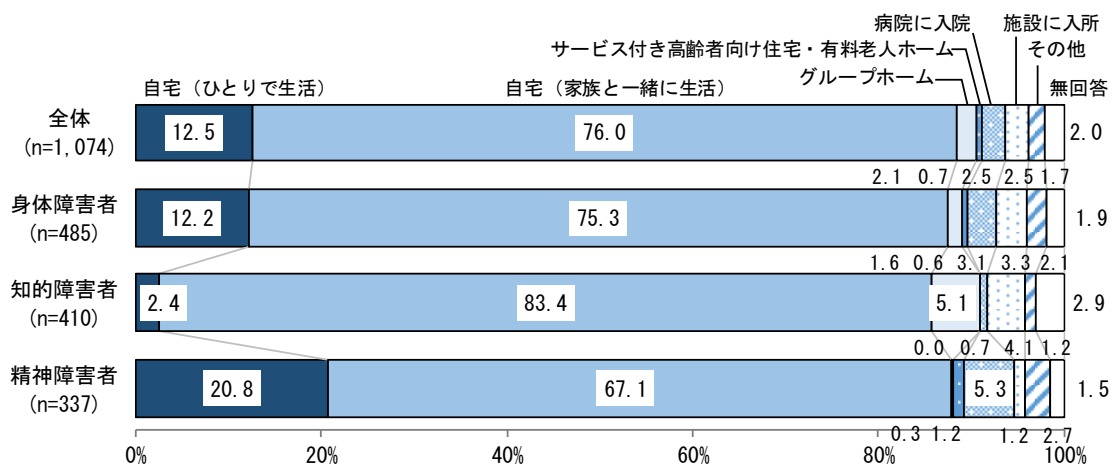


## (2) 現在の生活場所

**問 12** 現在、生活している場所をお答えください。 ○は1つだけ

現在の生活場所について、「自宅 (家族と一緒に生活)」が76.0%で最も多く、次いで「自宅 (ひとりで生活)」が12.5%、「病院に入院」「施設に入所」が2.5%となっており、「その他」の内容として「マンション」「団地」「アパート」などがありました。

障害種別でみると、いずれも「自宅 (家族と一緒に生活)」が最も多く、「身体障害者」が75.3%、「知的障害者」が83.4%、「精神障害者」が67.1%となっています。

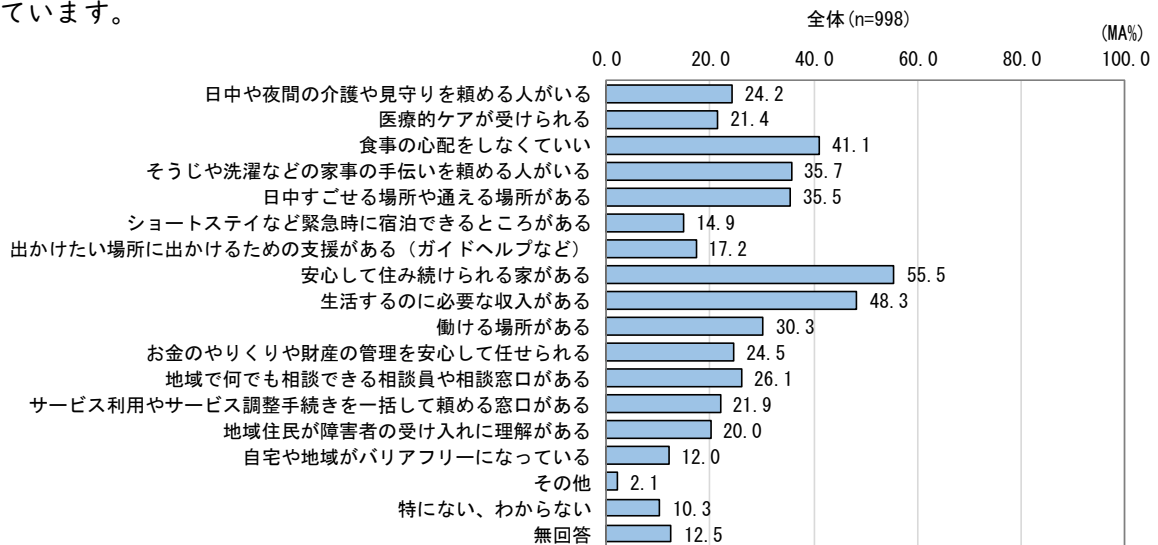


### (3) 自宅やグループホーム等で生活するために必要なものなど

問12-1	問12で「自宅（ひとりで生活）」「自宅（家族と一緒に生活）」「グループホーム」「サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム」、または「その他」を回答した方は、「現在の生活を続けるために必要なもの」について、「病院に入院」「施設に入所」を回答した方は、「どのような条件がととのえば自宅やグループホーム等で生活できると思うか。」について教えてください。	○はいくつでも
-------	--	---------

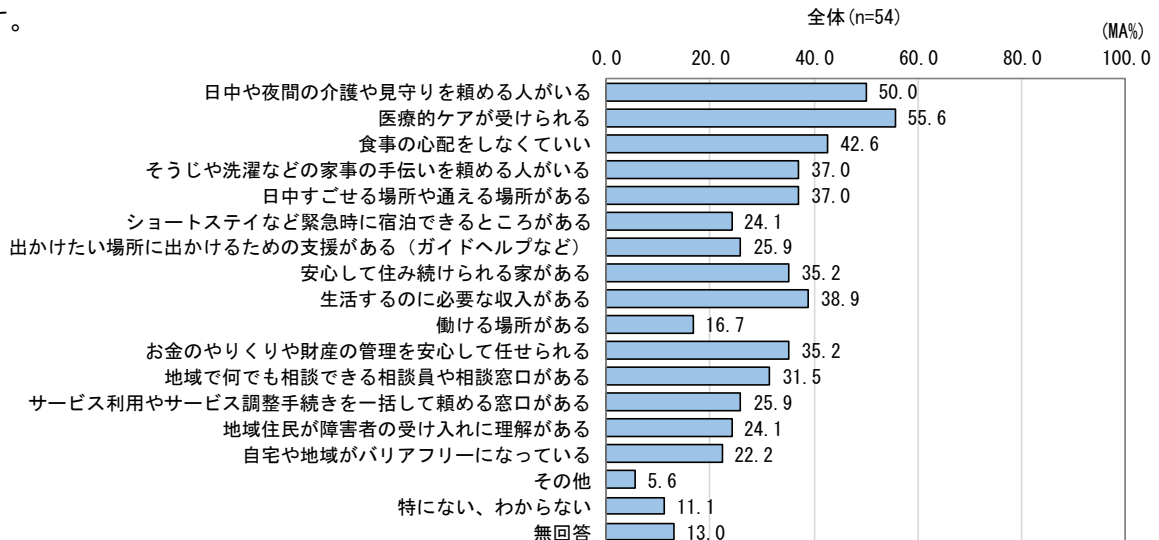
#### ①現在の生活を続けるために必要なもの

自宅、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホームで生活している人に、現在の生活を続けるために必要なものについてたずねたところ、「安心して住み続けられる家がある」が55.5%で最も多く、次いで「生活するのに必要な収入がある」が48.3%、「食事の心配をしなくていい」が41.1%となっています。



#### ②どのような条件が整えば自宅やグループホーム等で生活できると思うか

病院に入院、または施設に入所している人に、どのような条件が整えば自宅やグループホーム等で生活できると思うかについてたずねたところ、「医療的ケアが受けられる」が55.6%で最も多く、次いで「日中や夜間の介護や見守りを頼める人がいる」が50.0%、「食事の心配をしなくていい」が42.6%となっています。



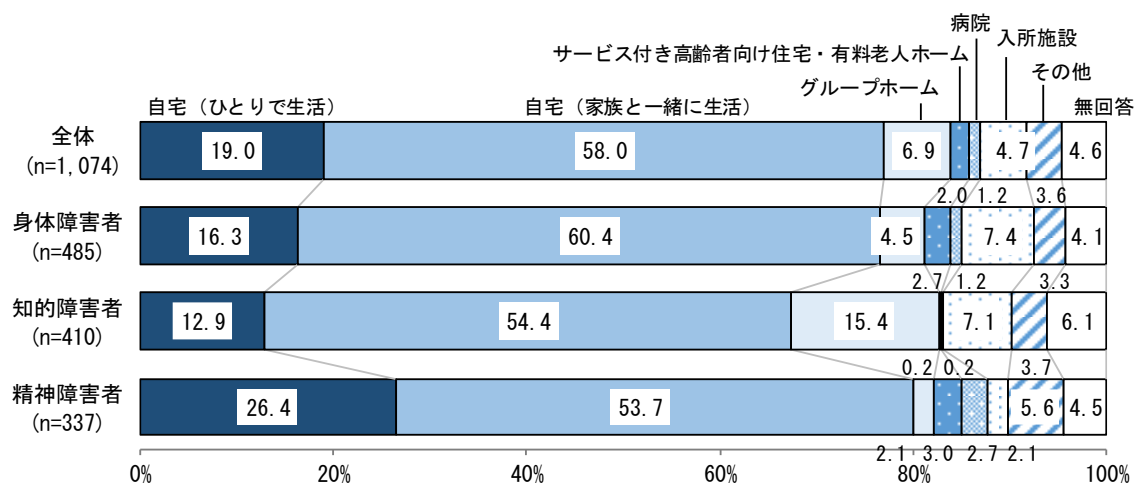
## (4) 将来 (10 年後) の生活場所

問 13 あなたは、10 年後の生活をどこで送りたいとお考えですか。

○は1つだけ

将来 (10 年後) の生活場所について、「自宅 (家族と一緒に生活)」が 58.0% で最も多く、次いで「自宅 (ひとりで生活)」が 19.0%、「グループホーム」が 6.9% となっており、「その他」の内容として「わからない」「賃貸 (借家) でひとり暮らし」「今までどおり」などがありました。

障害種別でみると、いずれも「自宅 (家族と一緒に生活)」が最も多く、「身体障害者」が 60.4%、「知的障害者」が 54.4%、「精神障害者」が 53.7% となっています。

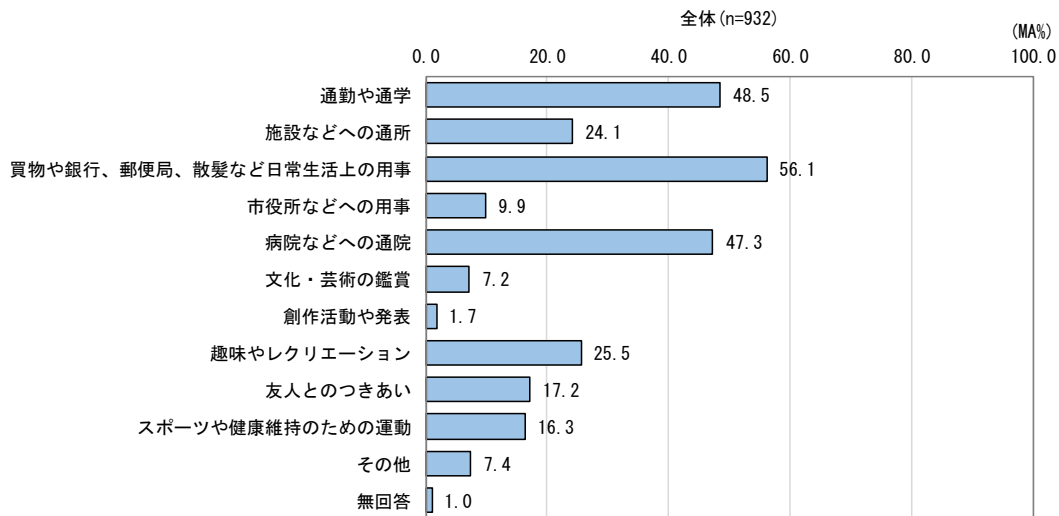


### 3 外出や社会参加の状況

#### (2) 外出の目的

問 15-1	問 15 で「ほとんど毎日」「週に2回から3回程度」「月に2回から3回程度」のいずれかを回答した方におたずねします。どのような目的で外出されることが多いですか。	○はいくつでも
--------	--	---------

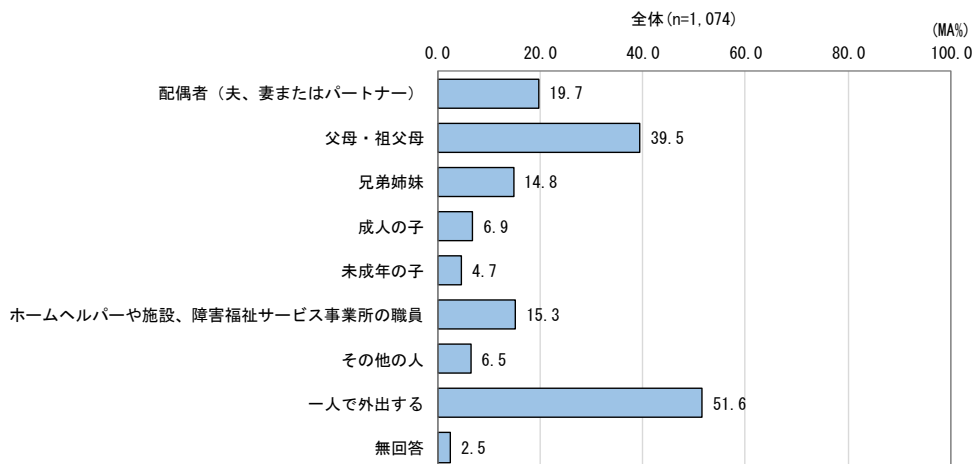
ふだん外出をしている人に、外出の目的についてたずねたところ、「買物や銀行、郵便局、散髪など日常生活上の用事」が56.1%で最も多く、次いで「通勤や通学」が48.5%、「病院などへの通院」が47.3%となっているほか、「スポーツや健康維持のための運動」が16.3%、「文化・芸術の鑑賞」が7.2%、「創作活動や発表」が1.7%となっており、「その他」の内容として「散歩」「外食」「公園・図書館」などがありました。



#### (3) 外出の際の同伴者

問 16	あなたは、外出する際に誰と外出しますか。	○はいくつでも
------	----------------------	---------

外出の際の同伴者について、「一人で外出する」が51.6%で最も多く、次いで「父母・祖父母」が39.5%、「配偶者（夫、妻またはパートナー）」が19.7%となっているほか、「未成年の子」が4.7%となっており、「その他の人」の内容として「友だち」「ガイドヘルパー」「恋人」などがありました。



## 4

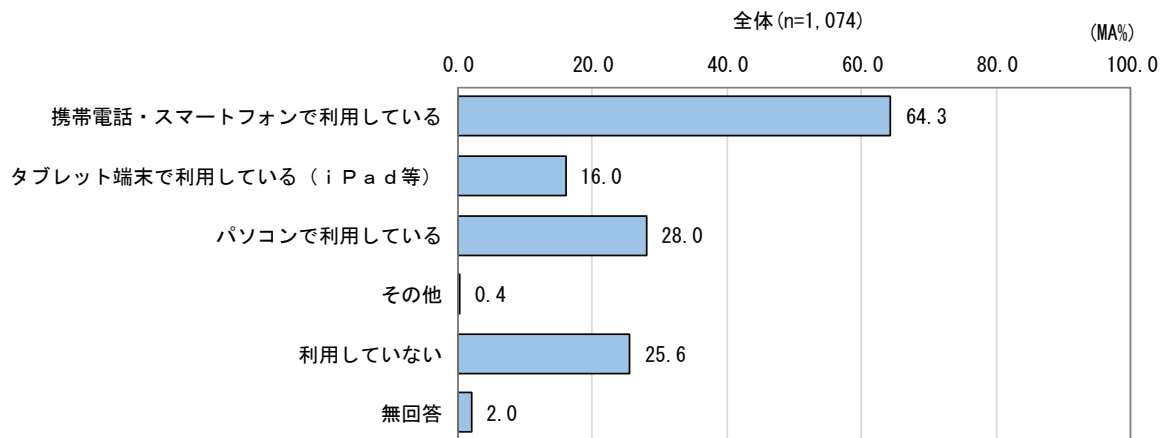
## 情報入手やコミュニケーションの状況

## (1) インターネット等の利用状況

問 18 あなたは、インターネットや情報通信機器を利用していますか。

○はいくつでも

インターネット等の利用状況について、「携帯電話・スマートフォンで利用している」が64.3%で最も多く、次いで「パソコンで利用している」が28.0%、「利用していない」が25.6%となっており、「その他」の内容として「FAX」などがありました。

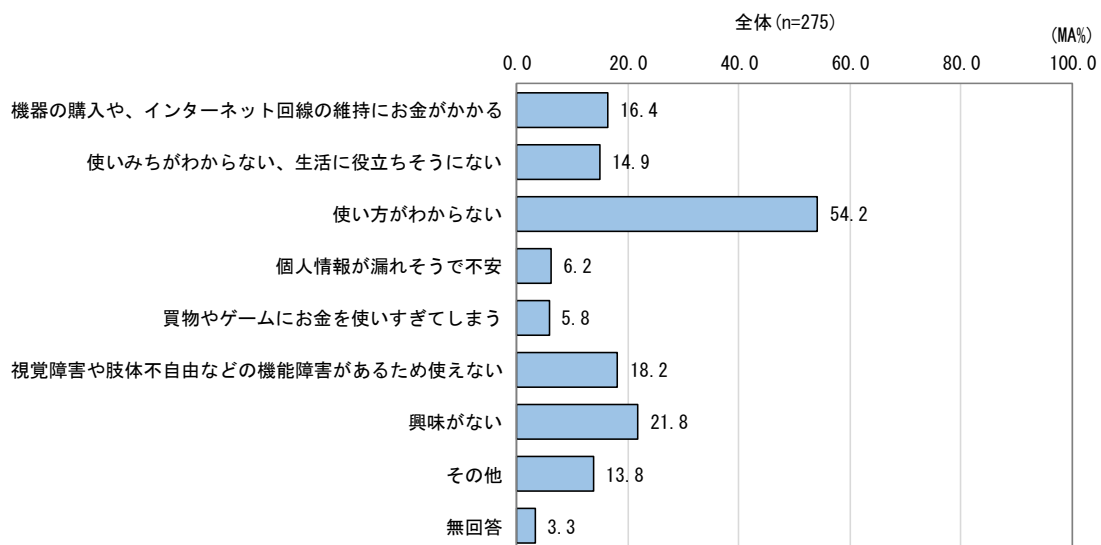


## (2) インターネット等を利用していない理由

問 18-1 問 18で「利用していない」を回答した方におたずねします。インターネットや情報通信機器を利用していない理由は何ですか。

○はいくつでも

インターネット等を利用していない人に、その理由についてたずねたところ、「使い方がわからない」が54.2%で最も多く、次いで「興味がない」が21.8%、「視覚障害や肢体不自由などの機能障害があるため使えない」が18.2%となっており、「その他」の内容として「子どもなので使えない・使わせない」「使えない」「入院中のため使用できない」などがありました。

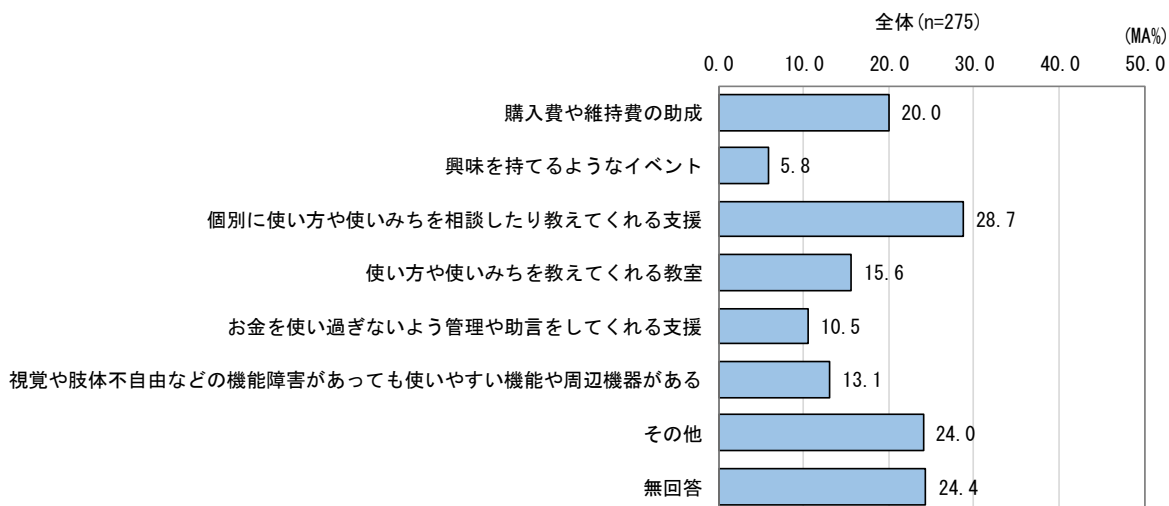




### (3) インターネット等を利用するために希望する支援

**問 18-2** 問 18 で「利用していない」を回答した方におたずねします。どんな支援があればインターネットや情報通信機器を利用したいですか。 ○はいくつでも

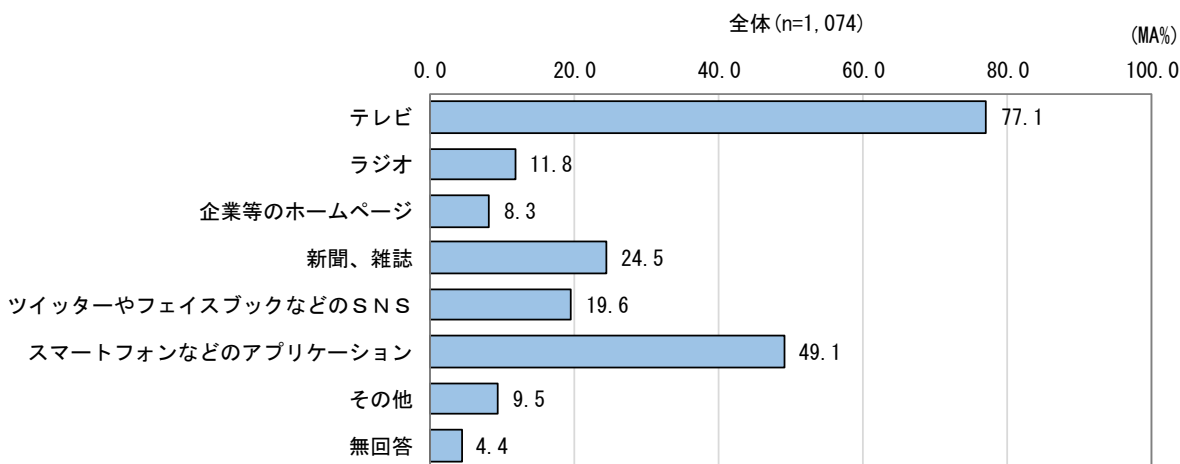
インターネット等を利用していない人に、どんな支援があればインターネット等を利用したいと思うかについてたずねたところ、「個別に使い方や使いみちを相談したり教えてくれる支援」が 28.7%で最も多く、次いで「その他」が 24.0%、「購入費や維持費の助成」が 20.0%となっており、「その他」の内容として「利用しない（わからない・いらない・興味がない等）」「理解できないため使えない（知的障害・認知症等）」「子どもなので成長してから考えたい」などがありました。



### (4) 必要な情報の入手先

**問 19** あなたは、日々の生活に必要な情報を何から得ていますか。 ○はいくつでも

必要な情報の入手先について、「テレビ」が 77.1%で最も多く、次いで「スマートフォンなどのアプリケーション」が 49.1%、「新聞、雑誌」が 24.5%となっており、「その他」の内容として「親・家族・友人」「PC・インターネット・動画サイト (YouTube)」「施設・施設職員・ヘルパー等」などがありました。

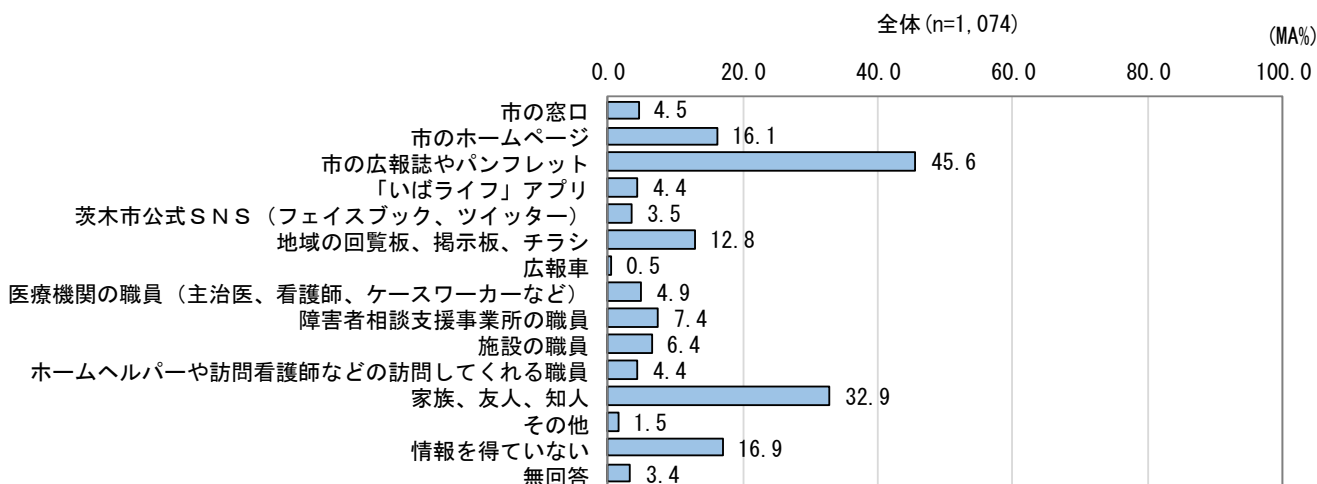


## (5) 市が提供する情報の入手先

問 20 あなたは、市が提供する情報を何から得ていますか。

○はいくつでも

市が提供する情報の入手先について、「市の広報誌やパンフレット」が45.6%で最も多く、次いで「家族、友人、知人」が32.9%、「情報を得ていない」が16.9%となっており、「その他」の内容として「学校」「駅」などがありました。



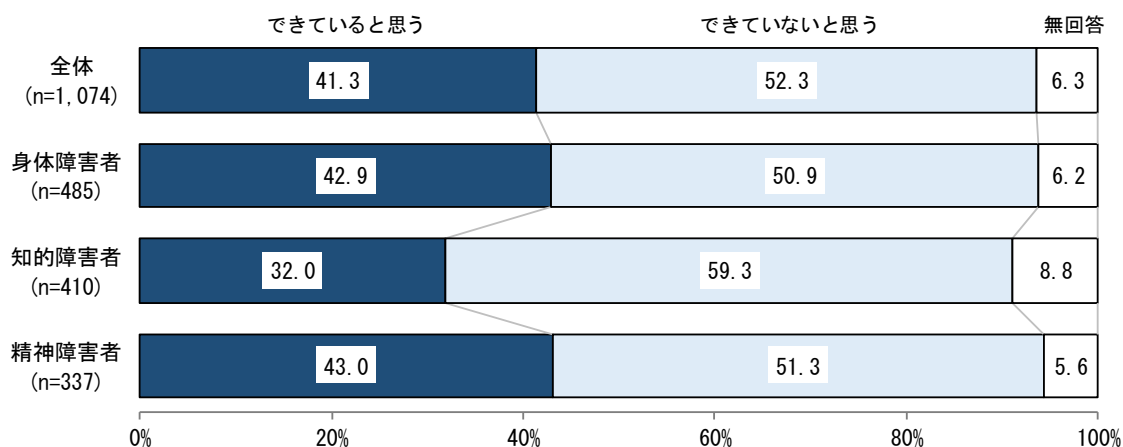
## (6) 市が提供する情報の提供状況

問 21 市が提供する情報について、十分な情報提供ができていますか。

○は1つだけ

市が提供する情報の提供状況について、「できていると思う」が41.3%、「できていないと思う」が52.3%となっています。

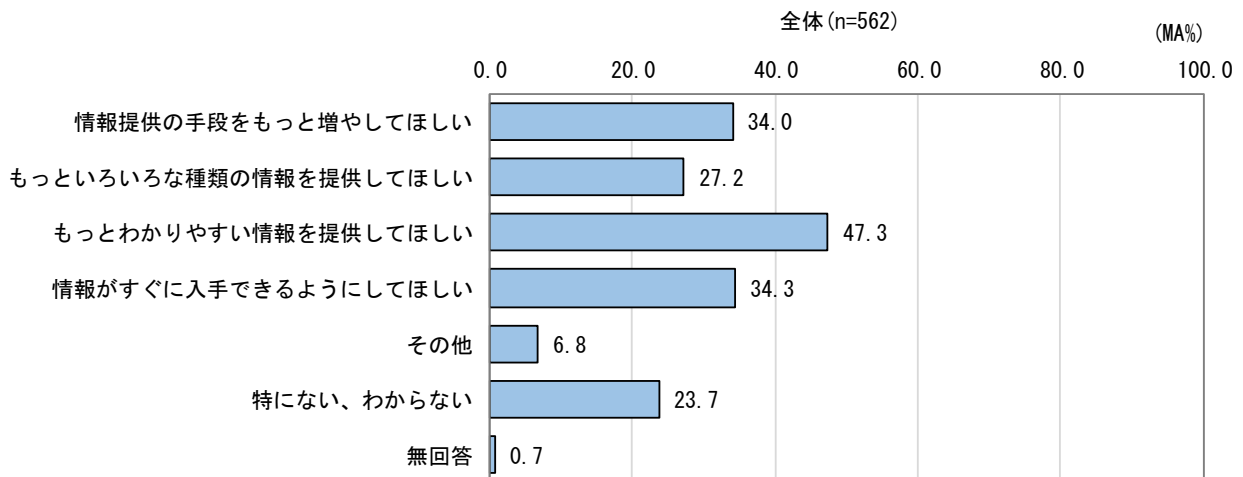
障害種別でみると、「できていないと思う」では「身体障害者」が50.9%、「知的障害者」が59.3%、「精神障害者」が51.3%となっています。



## (7) 市が提供する情報に対する希望

**問 21-1** 問 21 で「できていないと思う」と回答した方におたずねします。どのように提供してもらいたいですか。 ○はいくつでも

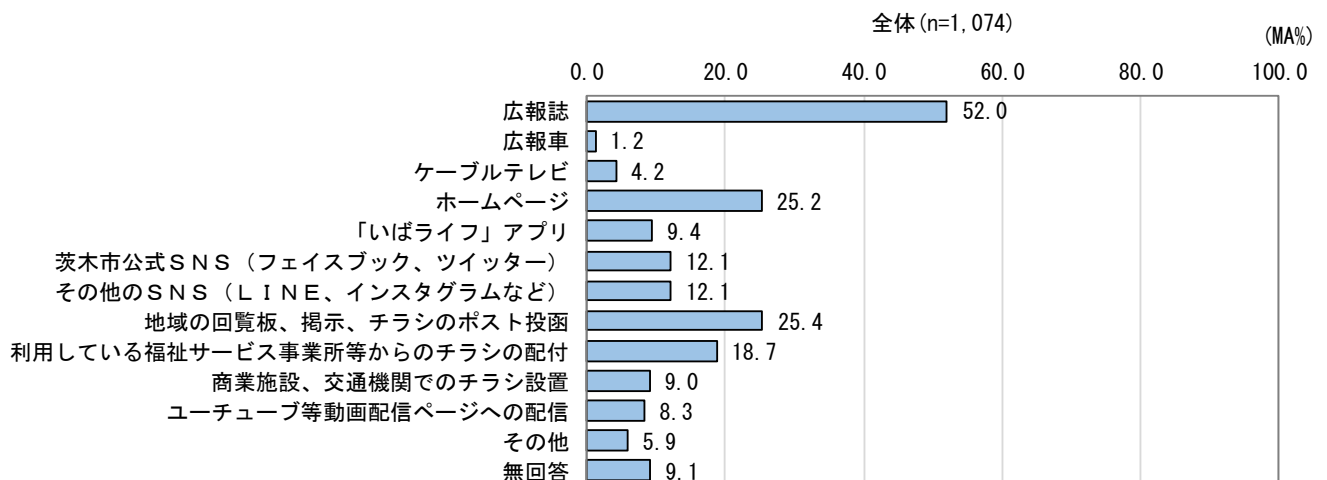
市は十分な情報提供ができていないと思う人に、どのように提供してもらいたいかについてたずねたところ、「もっとわかりやすい情報を提供してほしい」が47.3%で最も多く、次いで「情報がすぐに入手できるようにしてほしい」が34.3%、「情報提供の手段をもっと増やしてほしい」が34.0%となっており、「その他」の内容として「相談窓口を設置してほしい」「その人に合った情報を提供してほしい」「情報を配信してほしい（メール・アプリ・郵送等）」などがありました。



## (8) 市が提供する情報の手段

**問 22** あなたは、市が提供する情報をどういう手段で提供してもらいたいですか。 ○はいくつでも

市が提供する情報をどういう手段で提供してもらいたいかについて、「広報誌」が52.0%で最も多く、次いで「地域の回覧板、掲示、チラシのポスト投函」が25.4%、「ホームページ」が25.2%となっており、「その他」の内容として「個人宛てに郵送」「家族を介しての提供」「メール」などがありました。

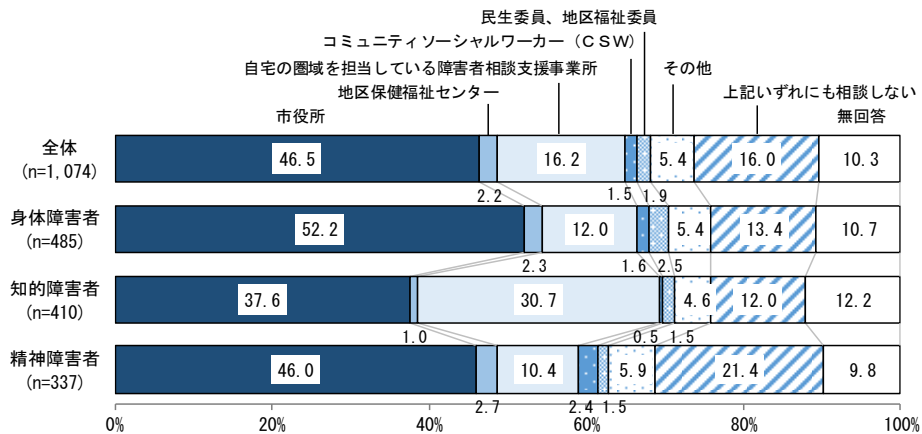


## 5 相談などについて

### (5) 市が整備している相談機関

**問 26** 生活上の困ったことや、将来の不安、制度の利用などについて相談したいと思った際に、市が整備している機関のうち、まずどの機関に相談しますか。 ○は1つだけ

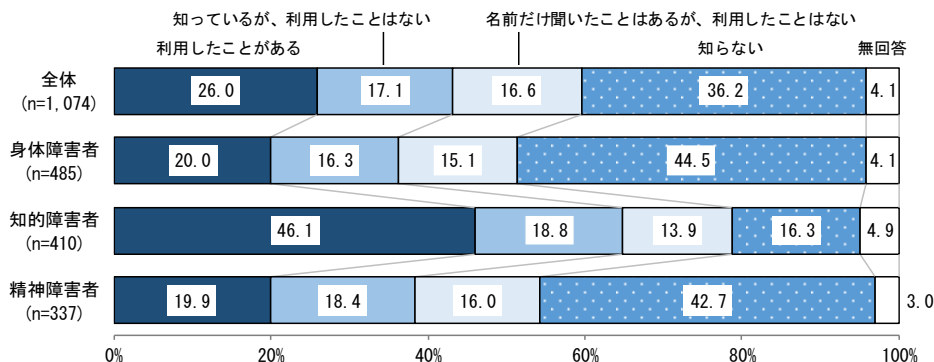
生活上の困ったことや、将来の不安、制度の利用などについて相談したいと思った際に、市が整備している機関のうち、まずどの機関に相談するかについて、「市役所」が46.5%で最も多く、次いで「自宅の圏域を担当している障害者相談支援事業所」が16.2%、「上記いずれにも相談しない」が16.0%となっており、「その他」の内容として「わからない・どこに相談してよいかわからない」などがありました。障害種別でみると、いずれも「市役所」が最も多く、「身体障害者」が52.2%、「知的障害者」が37.6%、「精神障害者」が46.0%となっています。



### (6) 障害者相談支援事業所の利用・認知状況

**問 27** あなたは、「ゆうあい」、「あい・あい」、「あゆむ」、「藍野療育園」、「ひまわり」、「りあん」、「慶徳会」、「ぼぼんがぼん」、「リーベ」、「とんぼ」などの障害者相談支援事業所を知っていますか。 ○は1つだけ

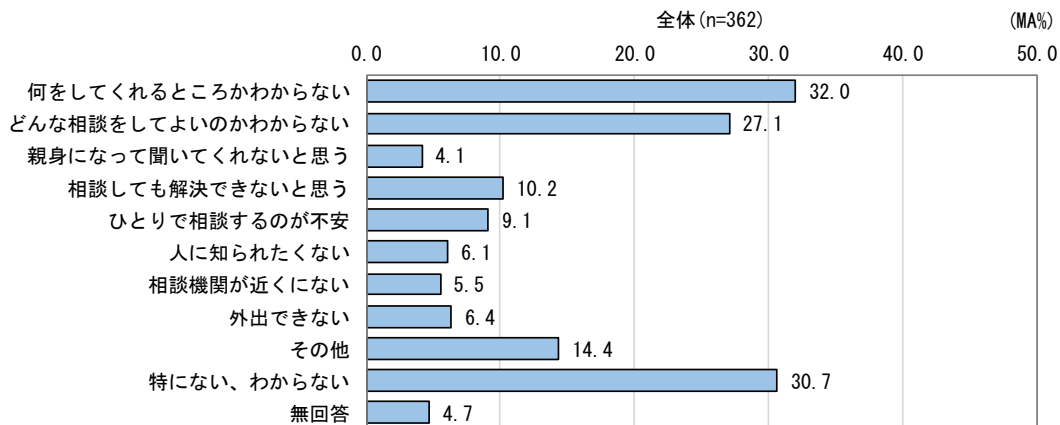
障害者相談支援事業所の利用・認知状況について、「知らない」が36.2%で最も多く、次いで「利用したことがある」が26.0%、「知っているが、利用したことはない」が17.1%となっています。障害種別でみると、「利用したことがある」では「身体障害者」が20.0%、「知的障害者」が46.1%、「精神障害者」が19.9%となっています。



## (8) 障害者相談支援事業所を利用したことがない理由

問 27-2	問 27 で「知っているが、利用したことはない」もしくは「名前だけ聞いたことはあるが、利用したことはない」のいずれかを回答した方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。	○はいくつでも
--------	--	---------

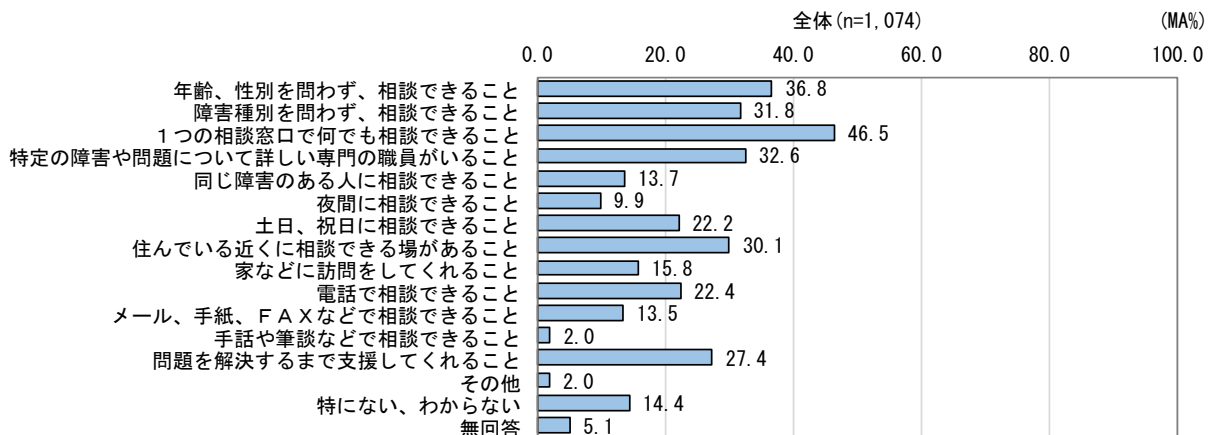
障害者相談支援事業所を利用したことはないが、知っている（名前だけ聞いたことがある）人に、利用したことがない理由についてたずねたところ、「何をしてくれるところかわからない」が 32.0%で最も多く、次いで「特にない、わからない」が 30.7%、「どんな相談をしてよいかわからない」が 27.1% となっており、「その他」の内容として「今は困っていないので必要ない」「他で相談しているので必要ない」「親・配偶者にしているため必要ない」などがありました。



## (9) 利用しやすい相談機関

問 28	あなたにとって利用しやすい相談機関はどのようなものですか。	○はいくつでも
------	-------------------------------	---------

利用しやすい相談機関について、「1つの相談窓口で何でも相談できること」が 46.5%で最も多く、次いで「年齢、性別を問わず、相談できること」が 36.8%、「特定の障害や問題について詳しい専門の職員がいること」が 32.6%となっており、「その他」の内容として「親身に話を聞いてくれる職員がいること」「医療機関」「医療行為のわかる職員がいること」「オンライン相談ができること」などがありました。



## 6 就労などについて

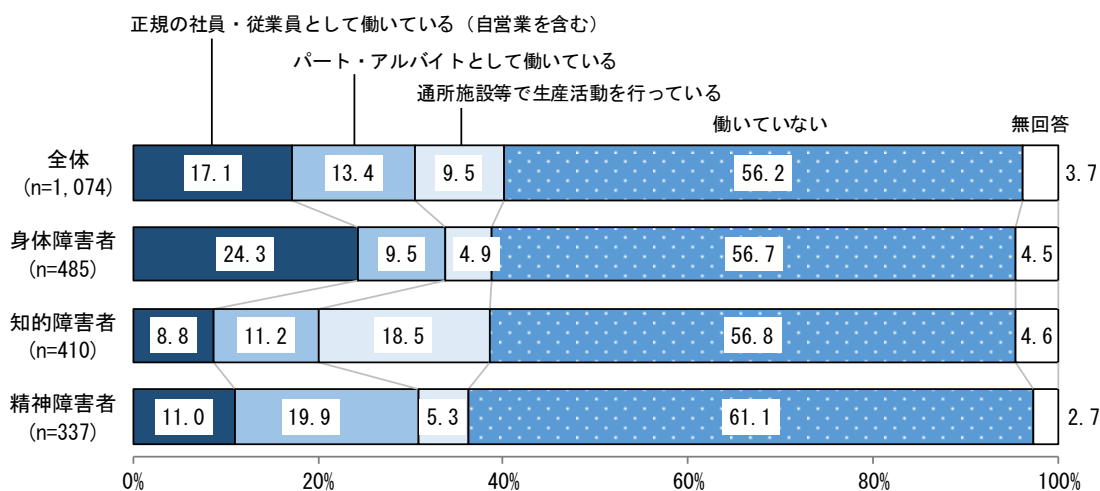
### (1) 就労形態

問 30 あなたは、働いていますか。

○は1つだけ

就労形態について、「働いていない」が56.2%で最も多く、次いで「正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）」が17.1%、「パート・アルバイトとして働いている」が13.4%となっています。

障害種別でみると、いずれも「働いていない」が最も多く、「身体障害者」が56.7%、「知的障害者」が56.8%、「精神障害者」が61.1%となっています。



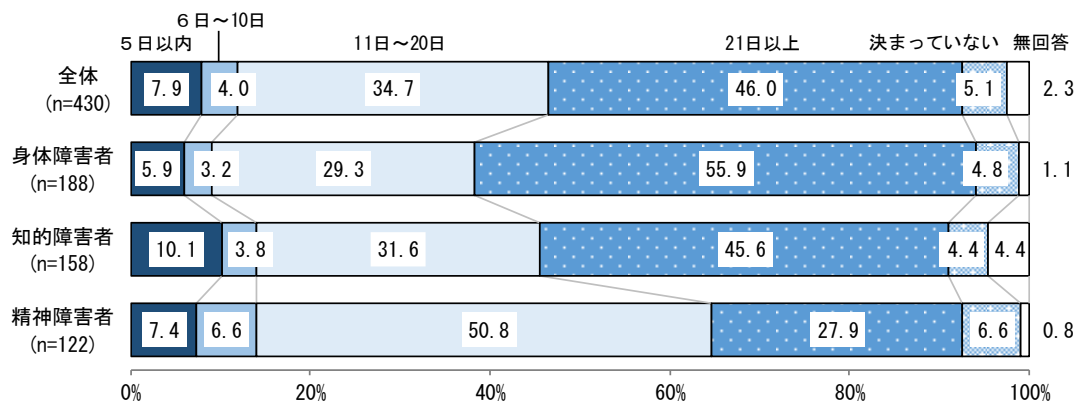
### (2) 1か月あたりの勤務日数

問 30-1 1か月に何日くらい働いていますか。

○は1つだけ

働いている人に、1か月あたりの勤務日数についてたずねたところ、「21日以上」が46.0%で最も多く、次いで「11～20日」が34.7%、「5日以内」が7.9%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「21日以上」が55.9%で最も多く、「知的障害者」では「21日以上」が45.6%で最も多く、「精神障害者」では「11～20日」が50.8%で最も多くなっています。

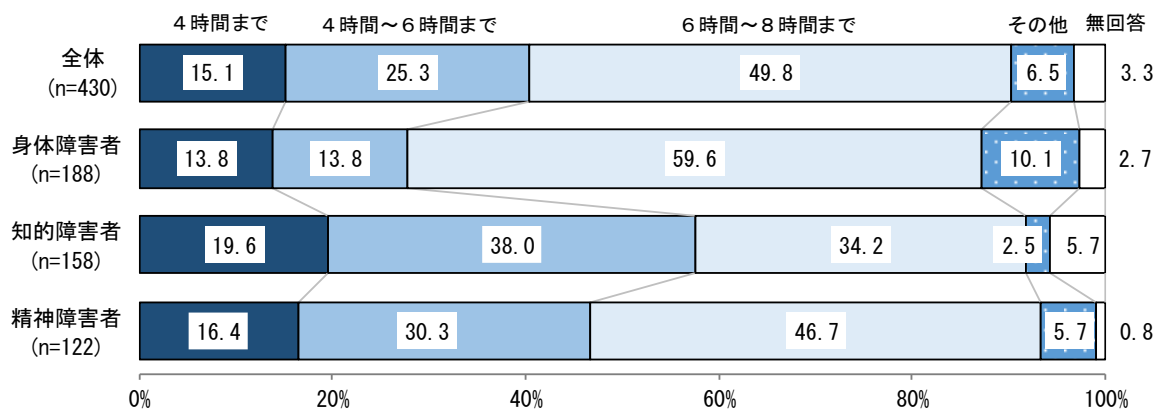


### (3) 1日あたりの勤務時間

**問 30-2** 1日に何時間くらい働いていますか。 ○は1つだけ

働いている人に、1日あたりの勤務時間についてたずねたところ、「6時間～8時間まで」が49.8%で最も多く、次いで「4時間～6時間まで」が25.3%、「4時間まで」が15.1%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「6時間～8時間まで」が59.6%で最も多く、「知的障害者」では「4時間～6時間まで」が38.0%で最も多く、「精神障害者」では「6時間～8時間まで」が46.7%で最も多くなっています。

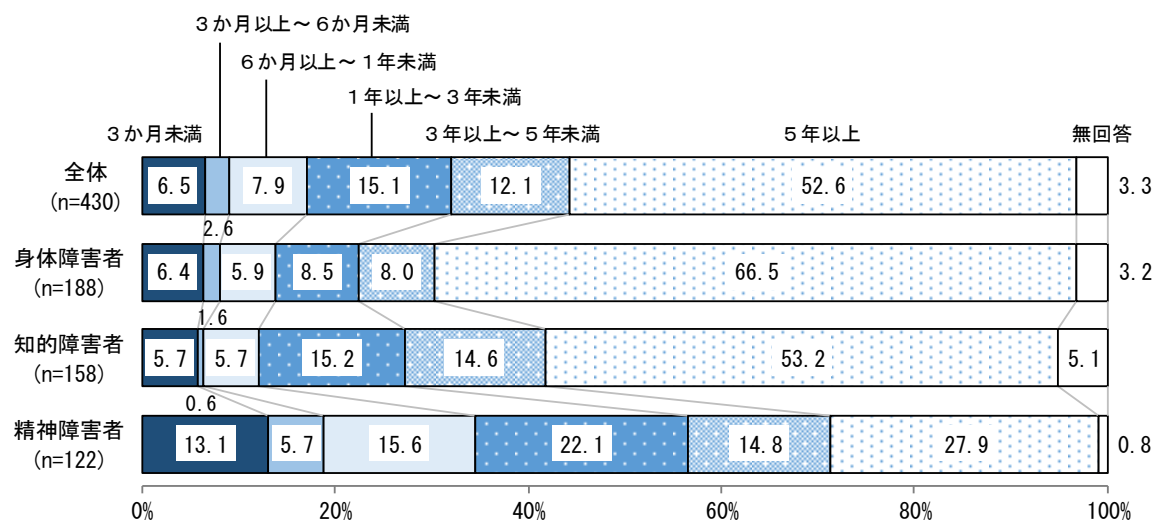


### (4) 今の職場での勤務年数

**問 30-3** 今の職場ではどのくらい働いていますか。 ○は1つだけ

働いている人に、今の職場での勤務年数についてたずねたところ、「5年以上」が52.6%で最も多く、次いで「1年以上～3年未満」が15.1%、「3年以上～5年未満」が12.1%となっています。

障害種別でみると、いずれも「5年以上」が最も多く、「身体障害者」が66.5%、「知的障害者」が53.2%、「精神障害者」が27.9%となっています。



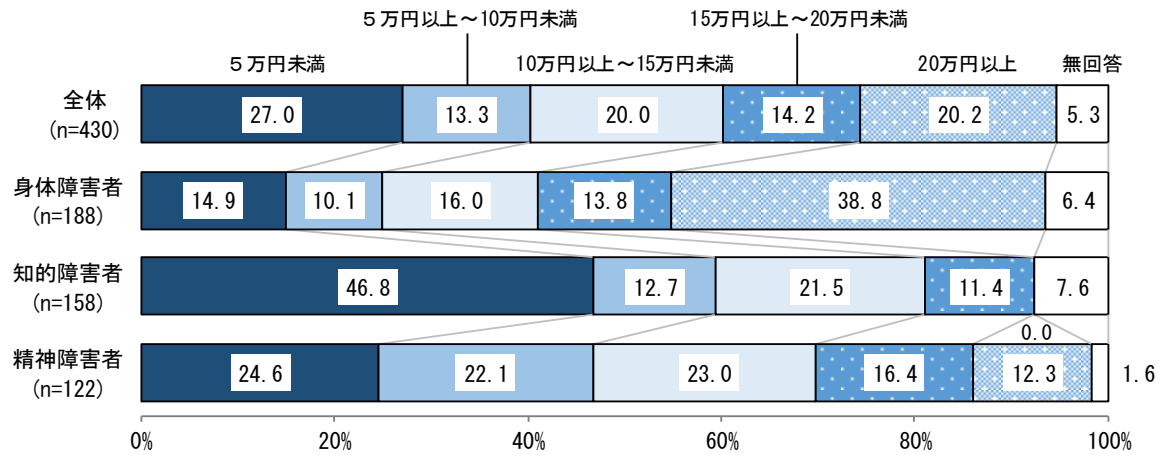
## (5) 月収について

問 30-4 月収（障害年金手当等を除く）はいくらですか。

○は1つだけ

働いている人に、月収についてたずねたところ、「5万円未満」が27.0%で最も多く、次いで「20万円以上」が20.2%、「10万円以上～15万円未満」が20.0%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「20万円以上」が38.8%で最も多く、「知的障害者」では「5万円未満」が46.8%で最も多く、「精神障害者」では「5万円未満」が24.6%で最も多くなっています。



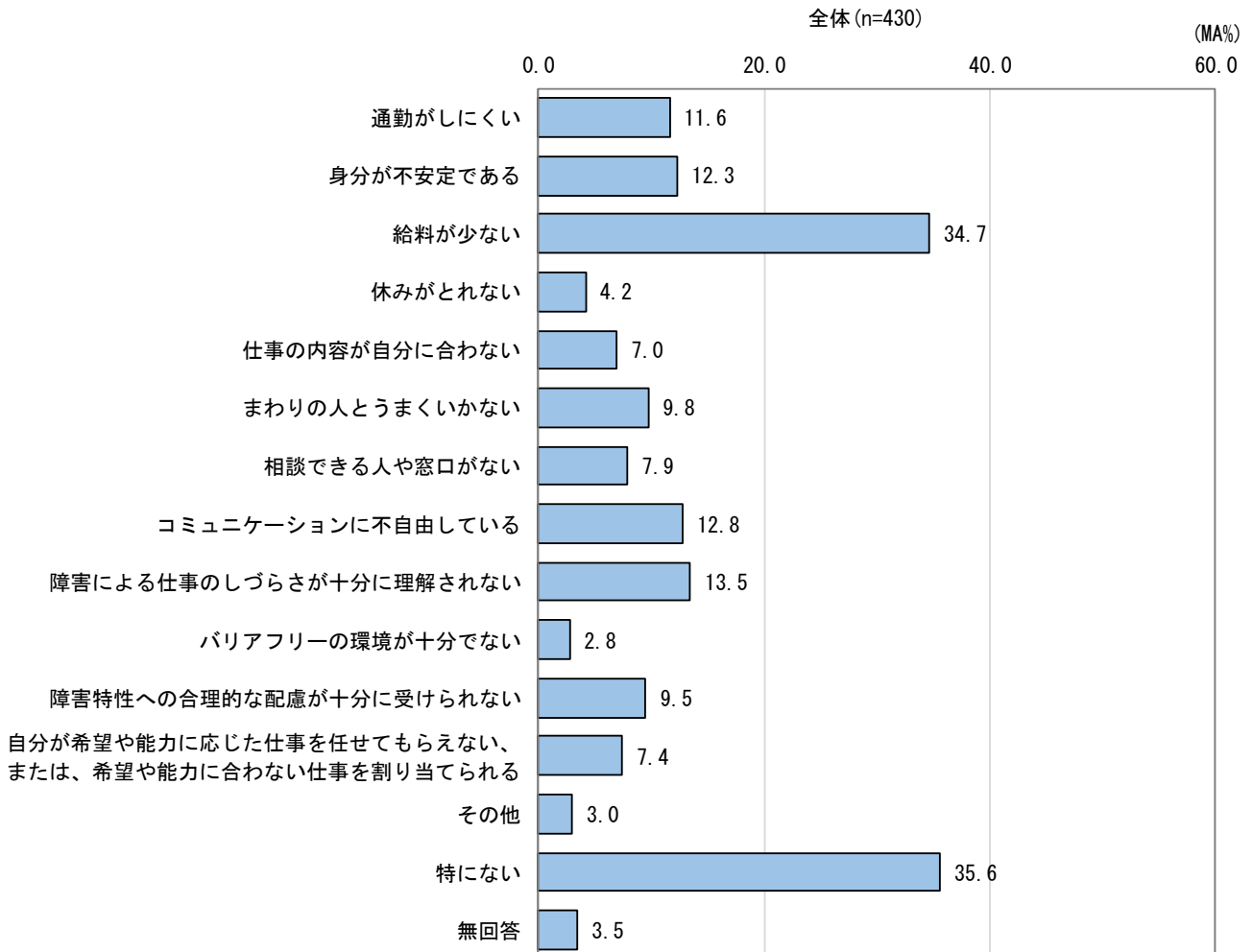


## (6) 働けなから困っていること

問 30-5 働けなから、困っていることは何ですか。

○はいくつでも

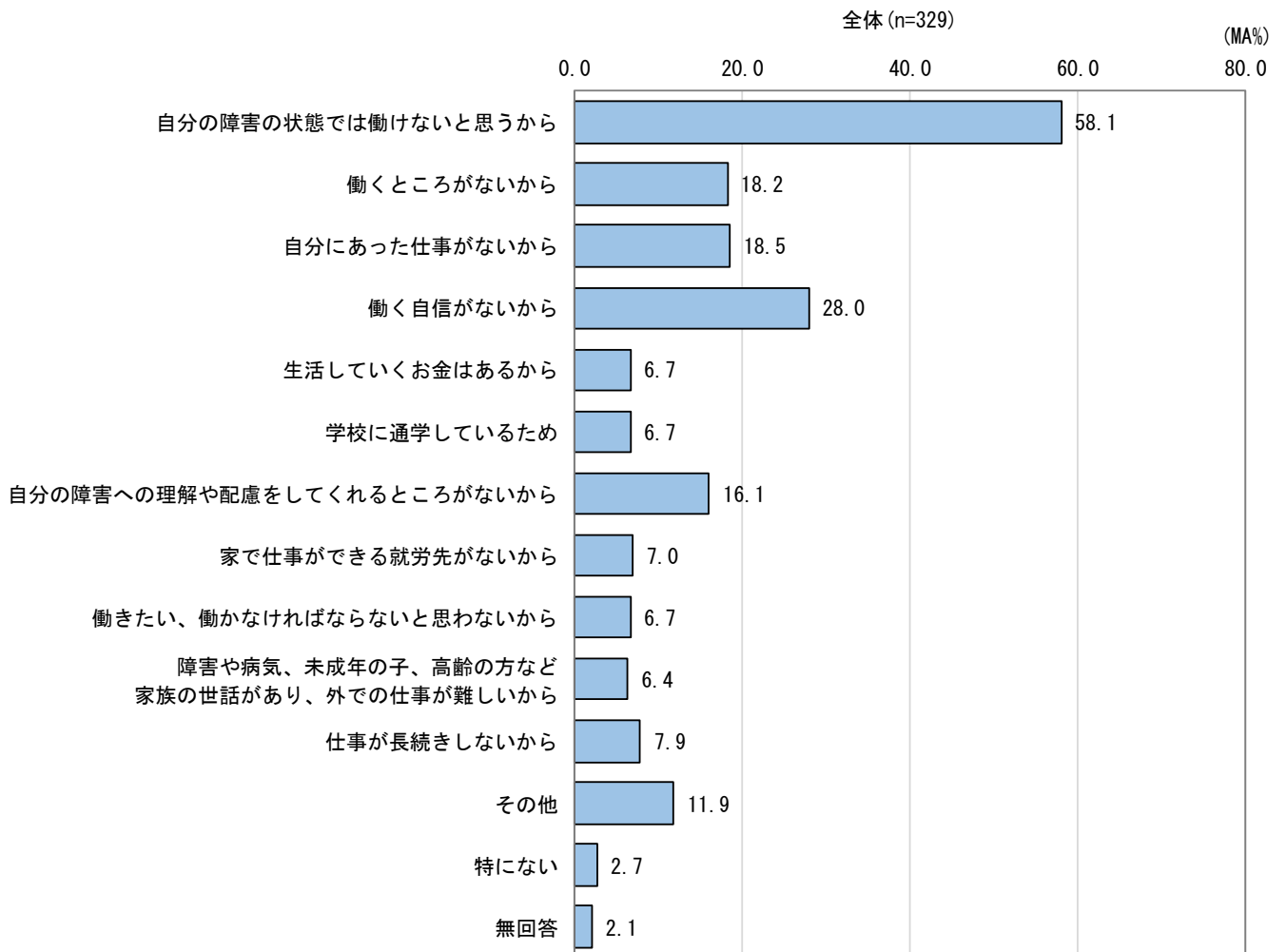
働いている人に、困っていることについてたずねたところ、「特になら」が35.6%で最も多く、次いで「給料が少ない」が34.7%、「障害による仕事のしづらさが十分に理解されない」が13.5%となっており、「その他」の内容として「健康状態が不安」「障害による仕事のやりにくさ」「休みがとりづらら」などがありました。



## (7) 現在、働いていない理由

<b>問 31</b>	18 歳以上 65 歳未満の方で働いていない方におたずねします。現在、働いていない理由は何ですか。	○はいくつでも
-------------	---	---------

18 歳以上 65 歳未満で働いていない方に、働いていない理由についてたずねたところ、「自分の障害の状態では働けないと思うから」が 58.1%で最も多く、次いで「働く自信がないから」が 28.0%、「自分にあつた仕事がないから」が 18.5%となっており、「その他」の内容として「体調に不安があるため」「病気のため」「入院中、病気療養中のため」などがありました。

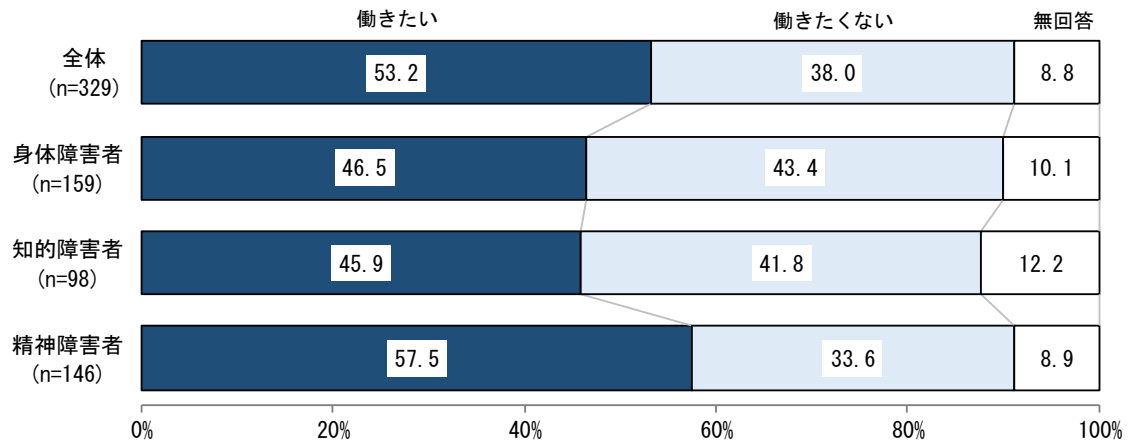


## (8) 就労意向

<b>問 32</b>	18歳以上65歳未満の方で働いていない方におたずねします。今後、働きたいですか。	○は1つだけ
-------------	--	--------

18歳以上65歳未満で働いていない方に、今後の就労意向についてたずねたところ、「働きたい」が53.2%、「働きたくない」が38.0%となっています。

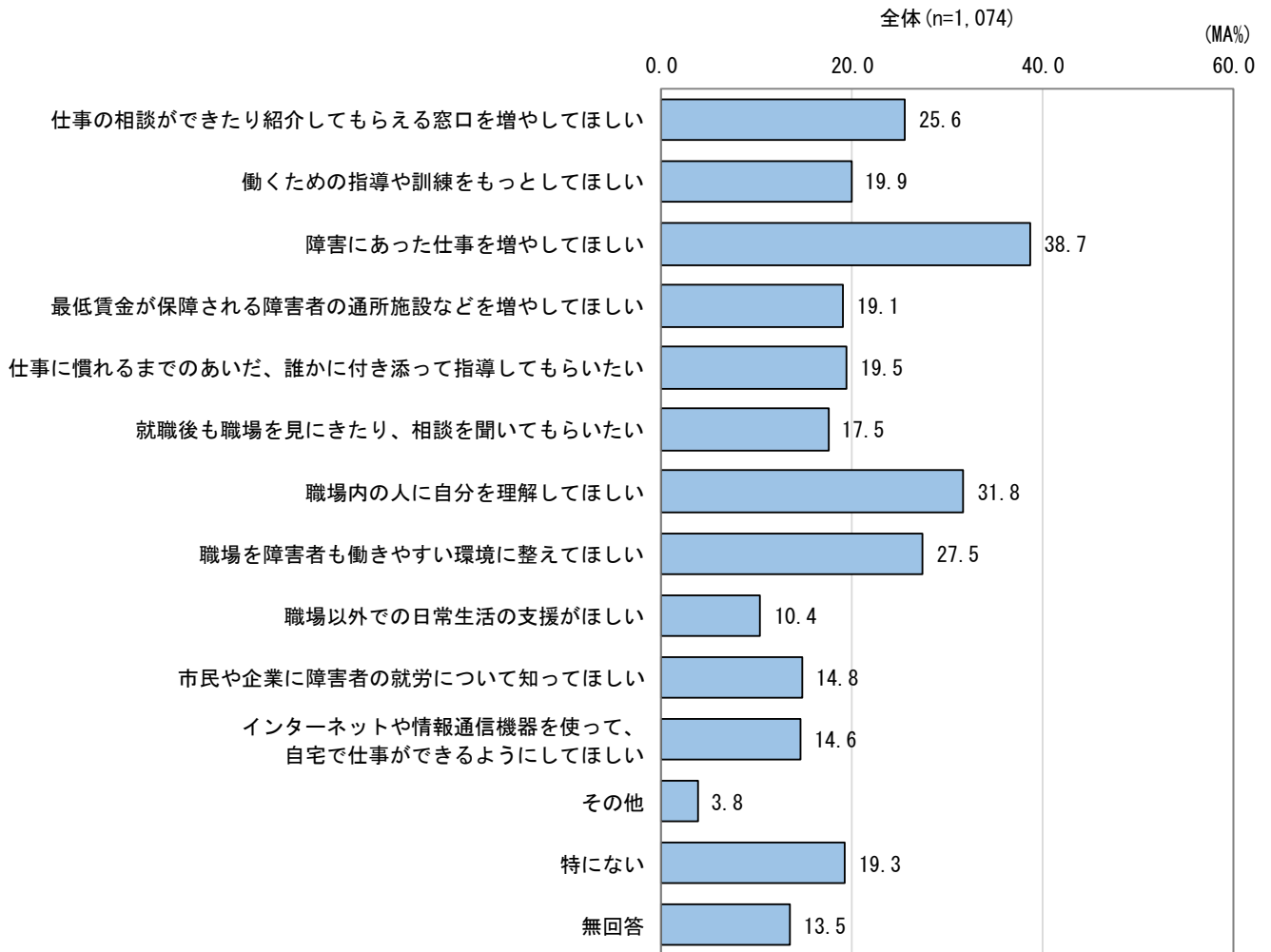
障害種別でみると、いずれも「働きたい」のほうが多く、「身体障害者」が46.5%、「知的障害者」が45.9%、「精神障害者」が57.5%となっています。



## (9) 働くことに対して望むこと

<b>問 33</b>	あなたが働くとするば（または働き続けるとすれば）どういうことを望みますか。	○はいくつでも
-------------	---------------------------------------	---------

働くことに対して望むことについて、「障害にあった仕事を増やしてほしい」が38.7%で最も多く、次いで「職場内の人に自分を理解してほしい」が31.8%、「職場を障害者も働きやすい環境に整えてほしい」が27.5%となっており、「その他」の内容として「通勤時の支援」「生活可能な収入」「自宅から近い職場」などがありました。



## 8

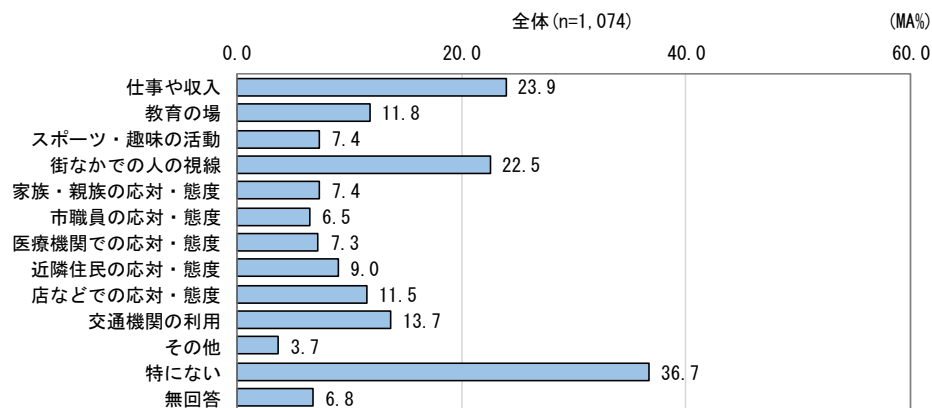
## 障害者に対する市民の理解、権利擁護

## (1) 差別や偏見・疎外感を感じるとき

問 40 あなたが差別や偏見・疎外感を感じるのはどんなときですか。

○はいくつでも

差別や偏見・疎外感を感じるときについて、「特にない」が36.7%で最も多く、次いで「仕事や収入」が23.9%、「街なかでの人の視線」が22.5%となっており、「その他」の内容として「わからない」「自身の障害について知っている人の対応・態度」「常に差別や偏見・疎外感を感じている」などがありました。

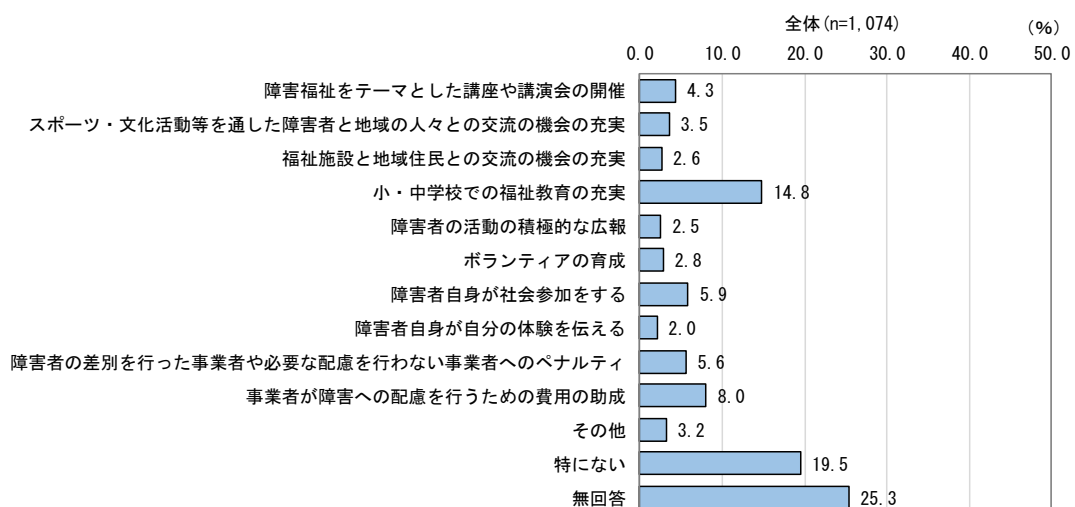


## (5) 障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと

問 44 障害者への理解を深めるために最も力を入れるべきことは何だと思いますか。

○は1つだけ

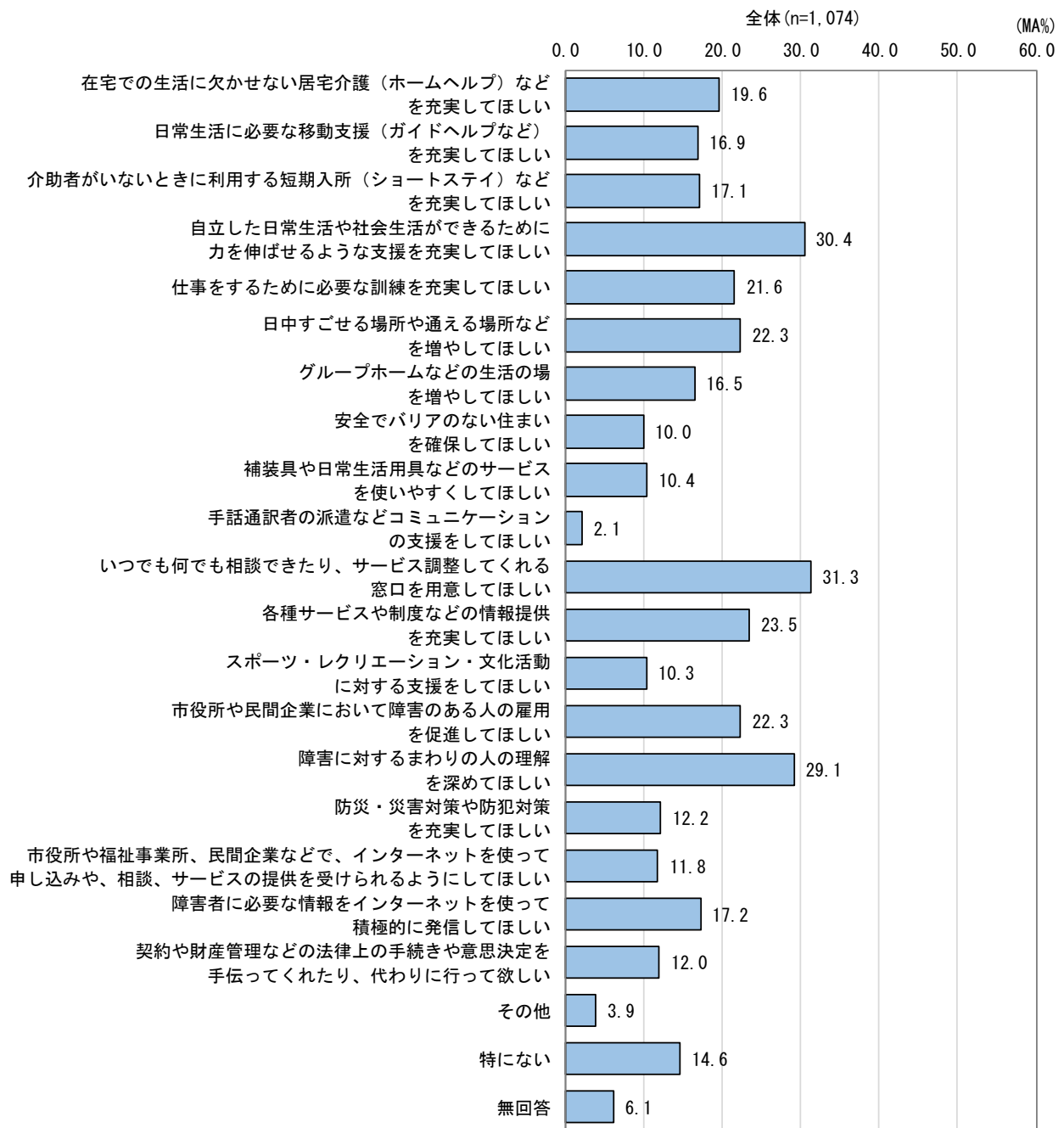
障害者への理解を深めるために最も力を入れるべきことについて、「特にない」が19.5%で最も多く、次いで「小・中学校での福祉教育の充実」が14.8%、「事業者が障害への配慮を行うための費用の助成」が8.0%となっており、「その他」の内容として「わからない」「障害に対する関する広報や体験学習の実施」「障害者が活動するためのサポートの充実」などがありました。



## (6) 今後の障害者施策に望むこと

問 45	あなたが、暮らしやすくなるために、今後の障害者施策に特に望むことはどのようなことですか。	○はいくつでも
------	--	---------

暮らしやすくなるために、今後の障害者施策に特に望むことについて、「いつでも何でも相談できたり、サービス調整してくれる窓口を用意してほしい」が31.3%で最も多く、次いで「自立した日常生活や社会生活ができるために力を伸ばせるような支援を充実してほしい」が30.4%、「障害に対するまわりの人の理解を深めてほしい」が29.1%となっており、「その他」の内容として「入所施設の増設、サービス内容の充実」「各種サービスの充実に関する要望」「助成金に関する要望」などがありました。

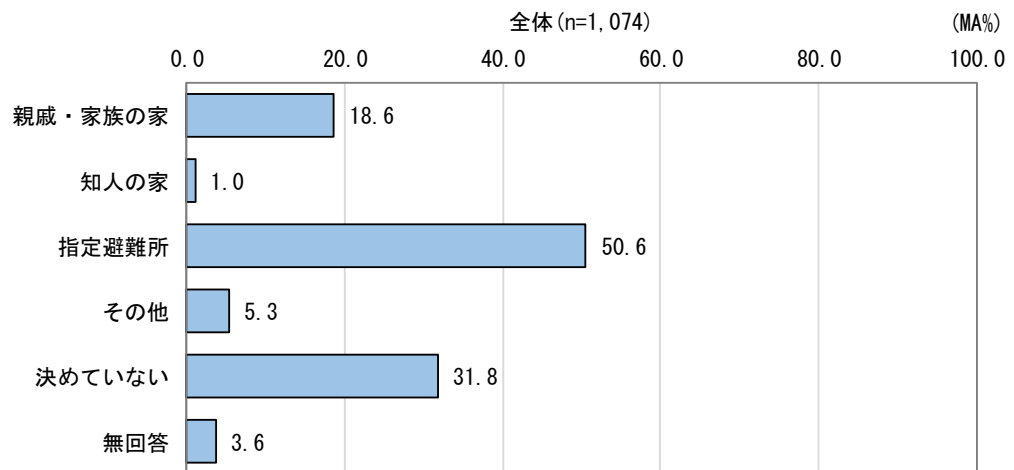


## (1) 災害時の避難行動先

問 47 あなたは、地震等の災害時にどこに避難をするか決めていますか。

○はいくつでも

災害時の避難行動先について、「指定避難所」が50.6%で最も多く、次いで「決めていない」が31.8%、「親戚・家族の家」が18.6%となっており、「その他」の内容として「自宅」「施設」「病院・施設の職員の指示のあった場所」などがありました。



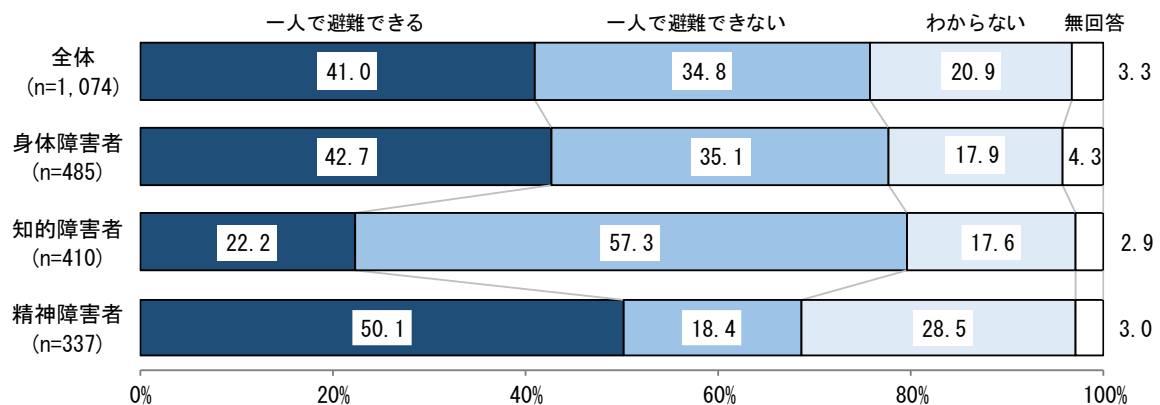
## (2) 自力避難

問 48 あなたは、地震等の災害時に一人で避難できますか。

○は1つだけ

地震等の災害時に一人で避難できるかについて、「一人で避難できる」が41.0%で最も多く、次いで「一人で避難できない」が34.8%、「わからない」が20.9%となっています。

障害種別でみると、「一人で避難できる」では「身体障害者」が42.7%、「知的障害者」が22.2%、「精神障害者」が50.1%となっています。

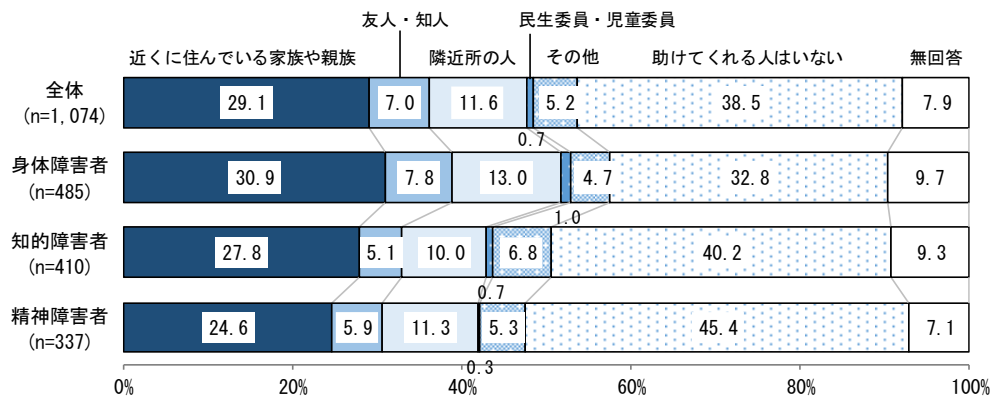


### (3) 近くに助けしてくれる人の有無

**問 49** 地震等の災害時に家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近くにあなたを助けしてくれる人はいますか。 ○は1つだけ

近くに助けしてくれる人はいるかについて、「助けしてくれる人はいない」が38.5%で最も多く、次いで「近くに住んでいる家族や親族」が29.1%、「隣近所の人」が11.6%となっており、「その他」の内容として「施設の職員」「一人になることがない」「病院スタッフ」などがありました。

障害種別でみると、いずれも「助けしてくれる人はいない」が最も多く、「身体障害者」が32.8%、「知的障害者」が40.2%、「精神障害者」が45.4%となっています。

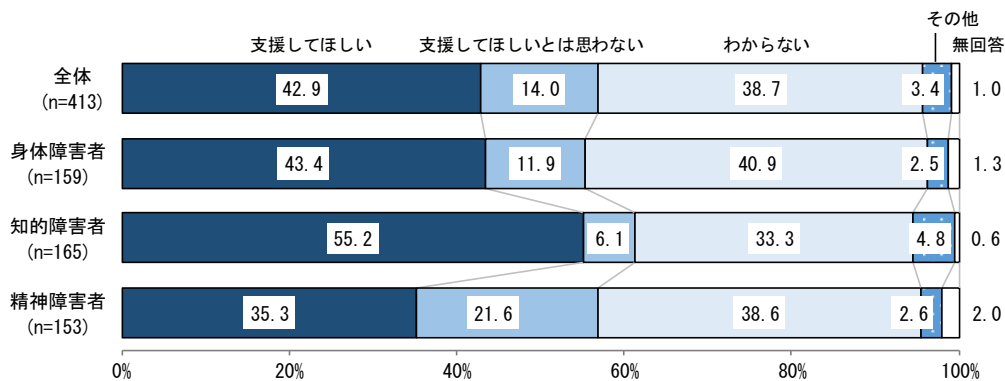


### (4) 災害時の支援希望

**問 49-1** 問49で「助けしてくれる人はいない」と回答した方におたずねします。地震等の災害時に助けが必要な場合、近所の人に支援してほしいですか。 ○は1つだけ

近くに助けしてくれる人はいない人に、地震等の災害時に助けが必要な場合、近所の人に支援してほしいかについてたずねたところ、「支援してほしい」が42.9%で最も多く、次いで「わからない」が38.7%、「支援してほしいとは思わない」が14.0%となっており、「その他」の内容として「近所づきあいがなく頼れない」「支援してほしいが無理だと思う」「人を派遣してほしい」「避難所で支援してほしい」などがありました。

障害種別でみると、「身体障害者」では「支援してほしい」が43.4%で最も多く、「知的障害者」では「支援してほしい」が55.2%で最も多く、「精神障害者」では「わからない」が38.6%で最も多くなっています。



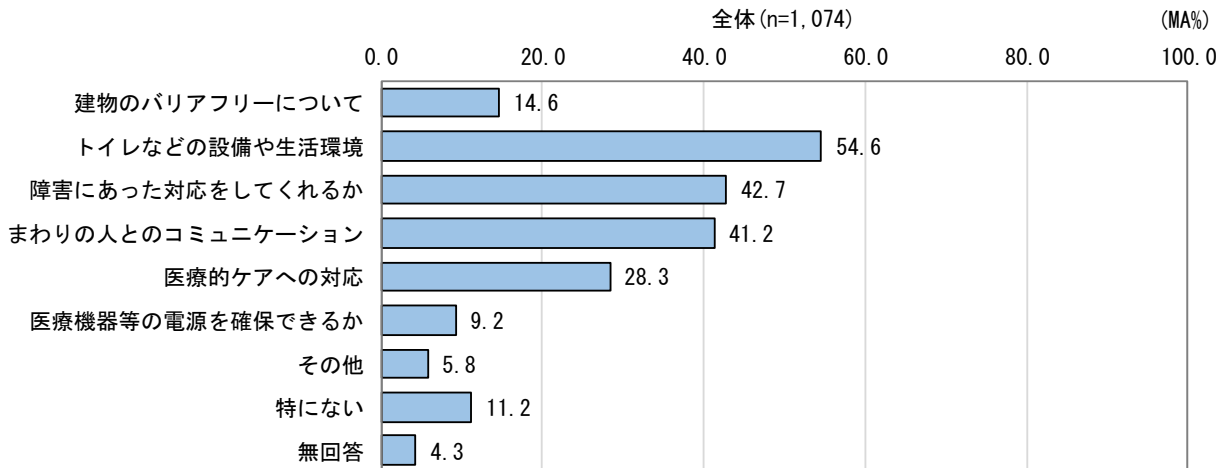


## (5) 避難所で過ごす際に不安なこと

問 50 地震等の災害時に避難所で過ごす際に不安なことは何ですか。

○はいくつでも

地震等の災害時に避難所で過ごす際に不安なことについて、「トイレなどの設備や生活環境」が54.6%で最も多く、次いで「障害にあった対応をしてくれるか」が42.7%、「まわりの人とのコミュニケーション」が41.2%となっており、「その他」の内容として「薬の確保・管理」「食料の確保、食事の対応」「透析について」「障害に対応してもらえないのでは」などがありました。



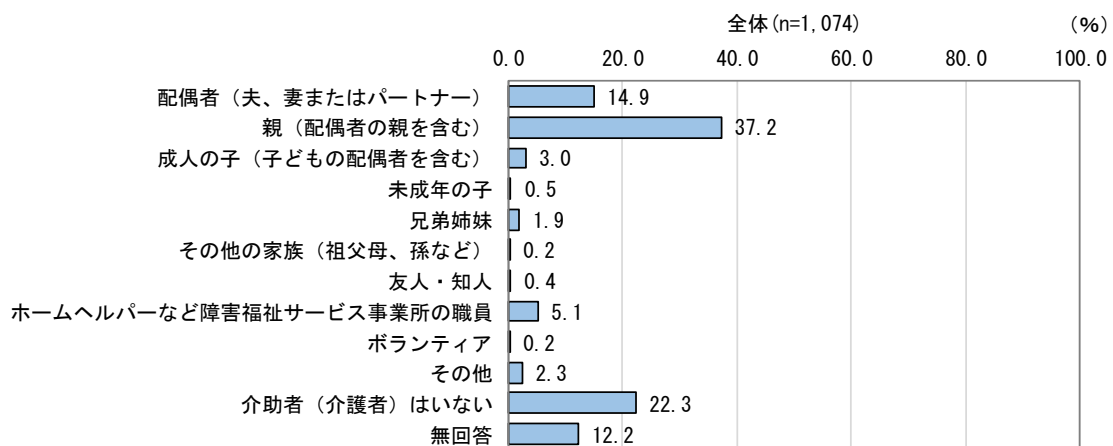
## 10 介助者（介護者）の状況

### (1) 主な介助者（介護者）

問 51 あなたの主な介助者（介護者）の方はどなたですか。

○は1つだけ

主な介助者（介護者）について、「親（配偶者の親を含む）」が37.2%で最も多く、次いで「介助者（介護者）はいない」が22.3%、「配偶者（夫、妻またはパートナー）」が14.9%となっているほか、「未成年の子」が0.5%となっており、「その他」の内容として「必要なし」「施設職員」「病院スタッフ」などがありました。



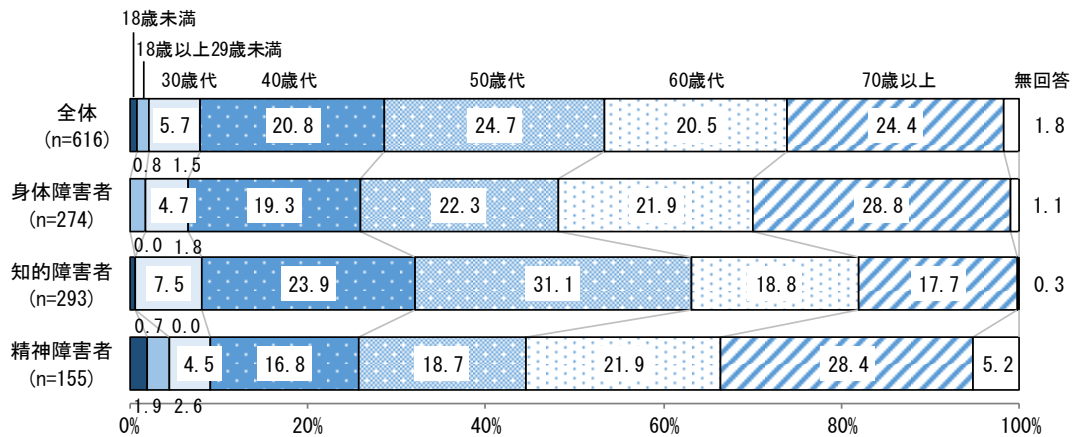
## (2) 主な介助者（介護者）の年齢

問 51-1 主な介助者（介護者）の方の年齢は何歳ですか。

○は1つだけ

家族から介助（介護）を受けている人に、主な介助者（介護者）の年齢についてたずねたところ、「50歳代」が24.7%で最も多く、次いで「70歳以上」が24.4%、「40歳代」が20.8%となっているほか、「18歳未満」が0.8%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「70歳以上」が28.8%で最も多く、「知的障害者」では「50歳代」が31.1%で最も多く、「精神障害者」では「70歳以上」が28.4%で最も多くなっています。



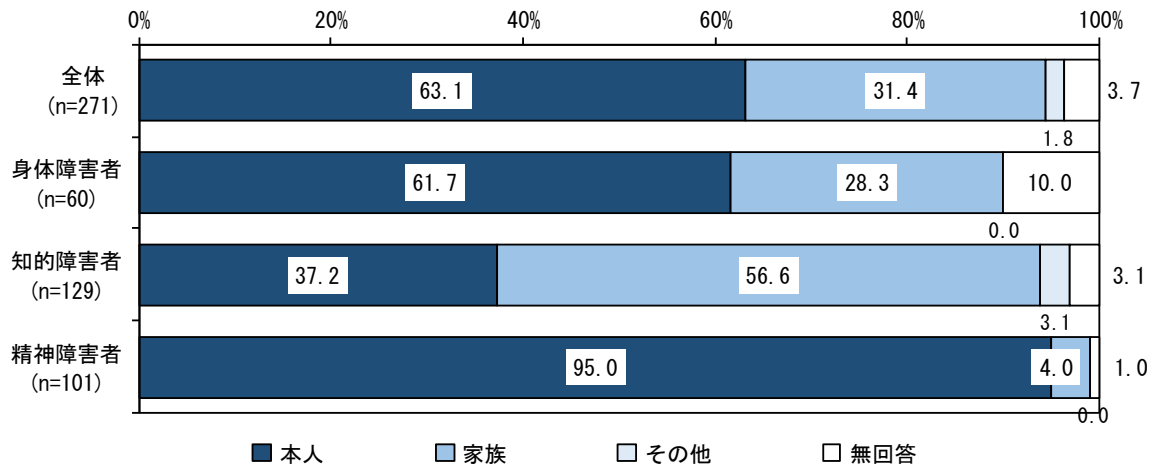
## **第4章 就労支援事業所利用者調査の結果**

このアンケートをご記入いただく方についてお答えください。

○は1つだけ

アンケートの回答者について、「本人」が63.1%で最も多く、次いで「家族」が31.4%、「その他」が1.8%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「本人」が61.7%で最も多く、「知的障害者」では「家族」が56.6%で最も多く、「精神障害者」では「本人」が95.0%で最も多くなっています。



## 2 就労について

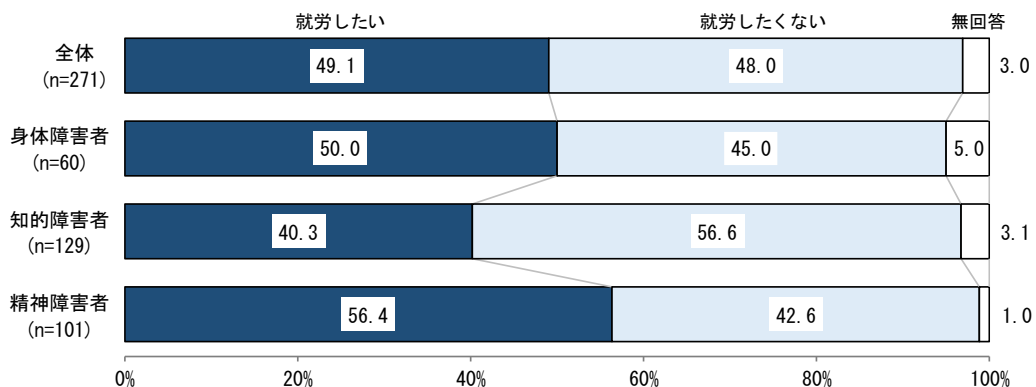
### (2) 就労意向

問9 あなたは、これから企業などで一般就労したいですか。

○は1つだけ

これから企業などで一般就労したいかについて、「就労したい」が49.1%、「就労したくない」が48.0%となっています。

障害種別でみると、「就労したい」では「身体障害者」が50.0%、「知的障害者」が40.3%、「精神障害者」が56.4%となっています。

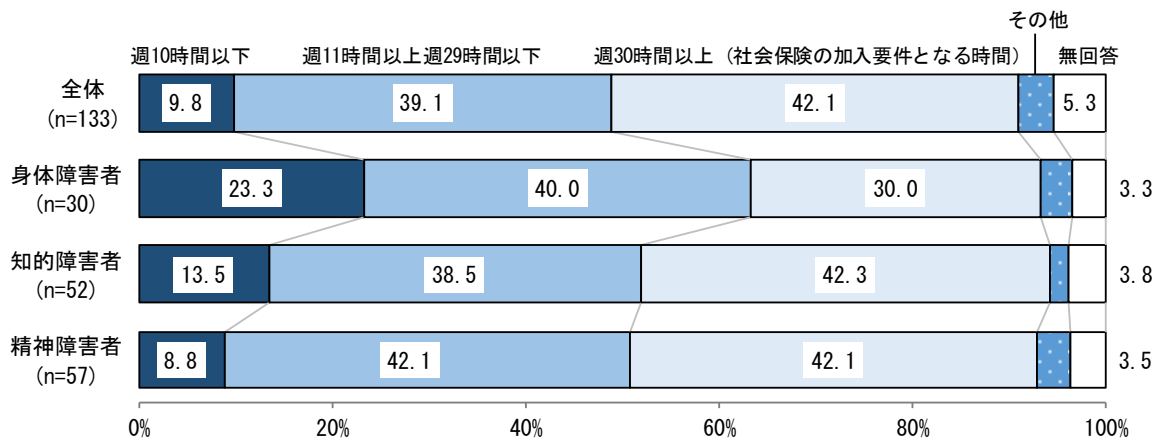


### (3) 希望する就労時間

<b>問 10</b>	問9で「就労したい」と回答した方におたずねします。就職したい場合、あなたは、1週間のうちどのくらいの時間働きたいですか。	○は1つだけ
-------------	--	--------

これから企業などで一般就労したい人に、1週間のうちどのくらいの時間働きたいかについてたずねたところ、「週30時間以上（社会保険の加入要件となる時間）」が42.1%で最も多く、次いで「週11時間以上週29時間以下」が39.1%、「週10時間以下」が9.8%となっています。

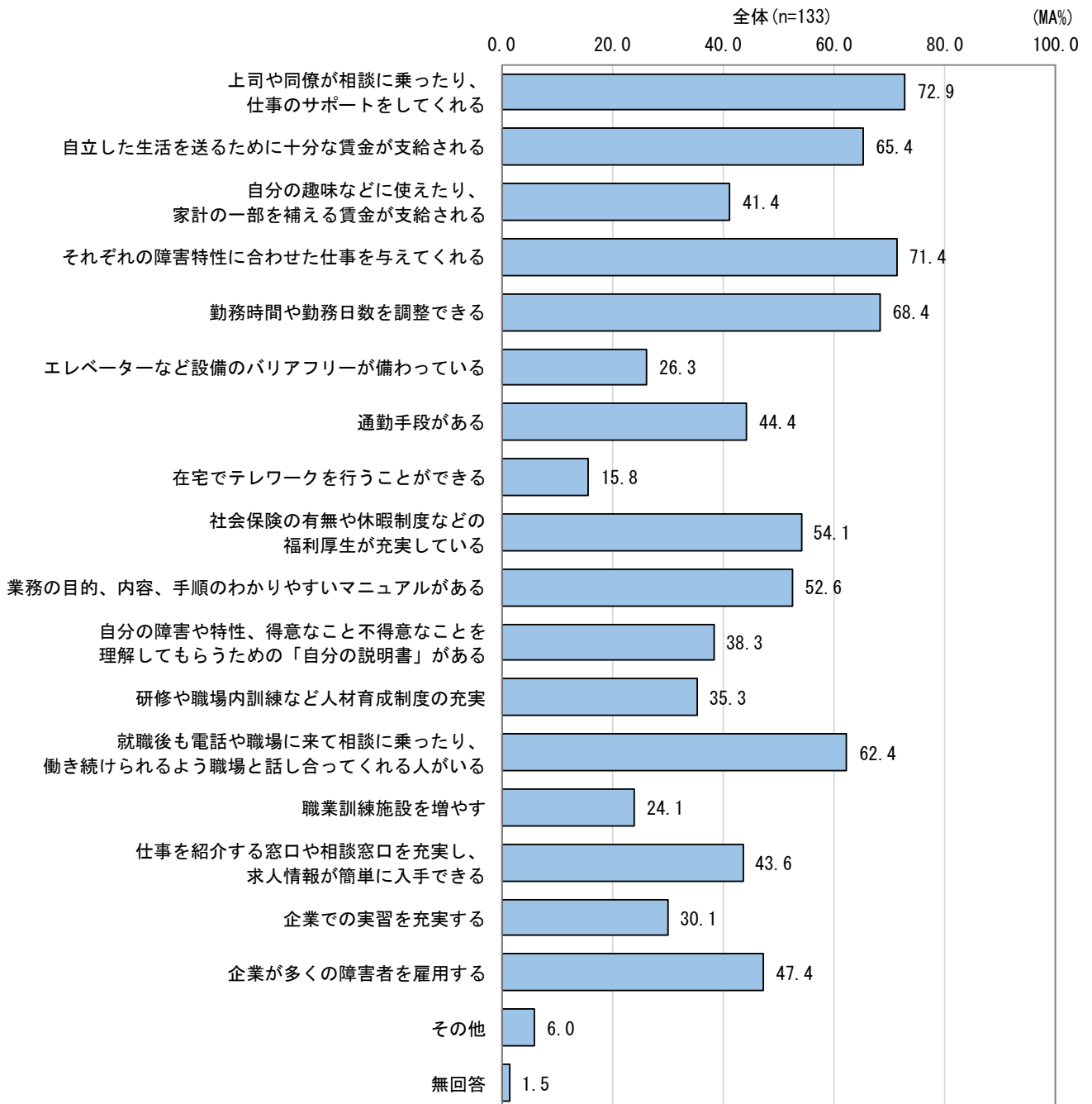
障害種別でみると、「週30時間以上（社会保険の加入要件となる時間）」では「身体障害者」が30.0%、「知的障害者」が42.3%、「精神障害者」が42.1%となっています。



## (4) 障害者が就労する上で必要な環境

問 11	問9で「就労したい」と回答した方におたずねします。あなたは、障害のある人が働くためには、どのような環境が必要だと思いますか。	○はいくつでも
------	--	---------

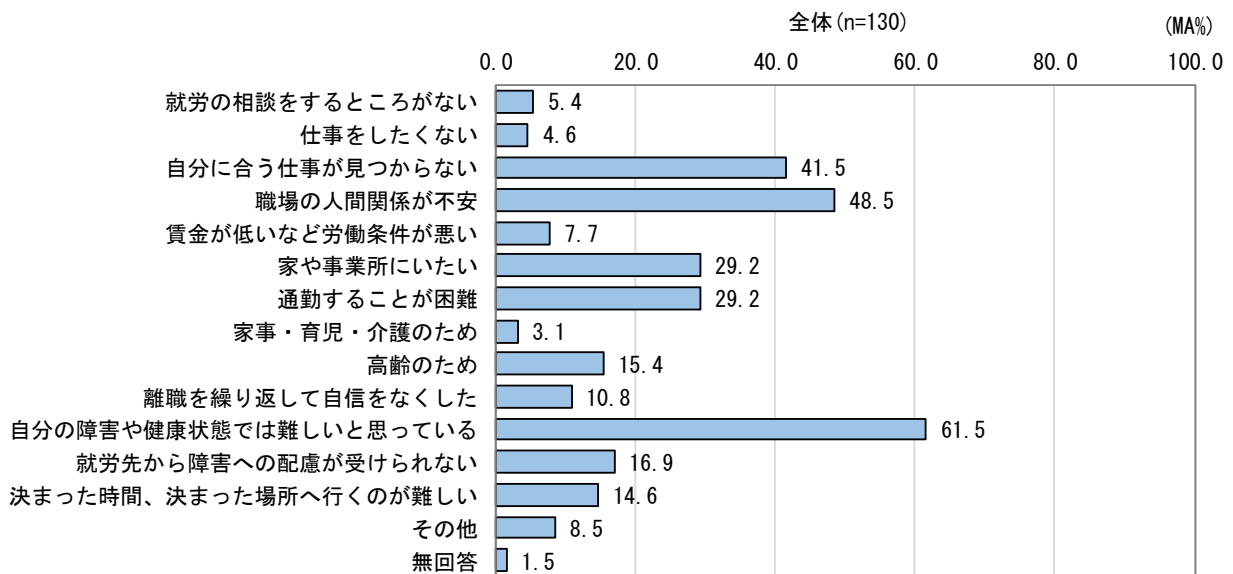
これから企業などで一般就労したい人に、障害者が就労する上で必要な環境についてたずねたところ、「上司や同僚が相談に乗ったり、仕事のサポートをしてくれる」が72.9%で最も多く、次いで「それぞれの障害特性に合わせた仕事を与えてくれる」が71.4%、「勤務時間や勤務日数を調整できる」が68.4%となっています。



## (8) 就職したくない理由

問 14	問9で「就労したくない」と回答した方におたずねします。就労したくない理由は何ですか。	○はいくつでも
------	--	---------

これから企業などで一般就労したくない人に、その理由についてたずねたところ、「自分の障害や健康状態では難しいと思っている」が61.5%で最も多く、次いで「職場の人間関係が不安」が48.5%、「自分に合う仕事が見つからない」が41.5%となっており、「その他」の内容として「他の場所（作業所等）に通っているため」「コミュニケーションがとれないため不安」「一般ではない就労先を希望しているため」などがありました。



## 第5章 障害児通所支援等利用者調査の結果

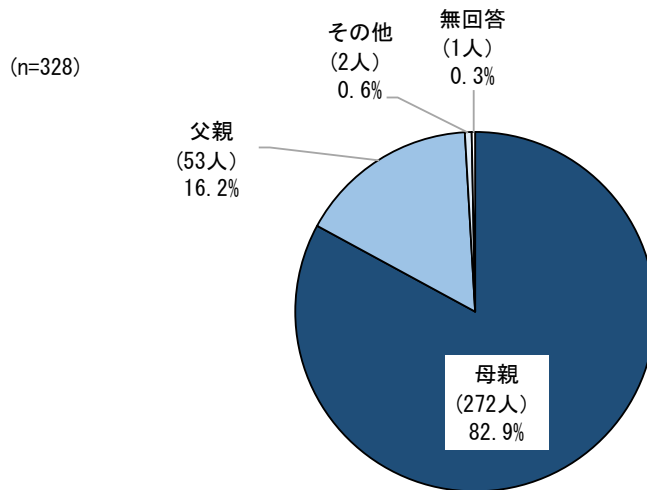


# I 対象者の属性

## (2) アンケートの記入者

**問2** この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。 ○は1つだけ

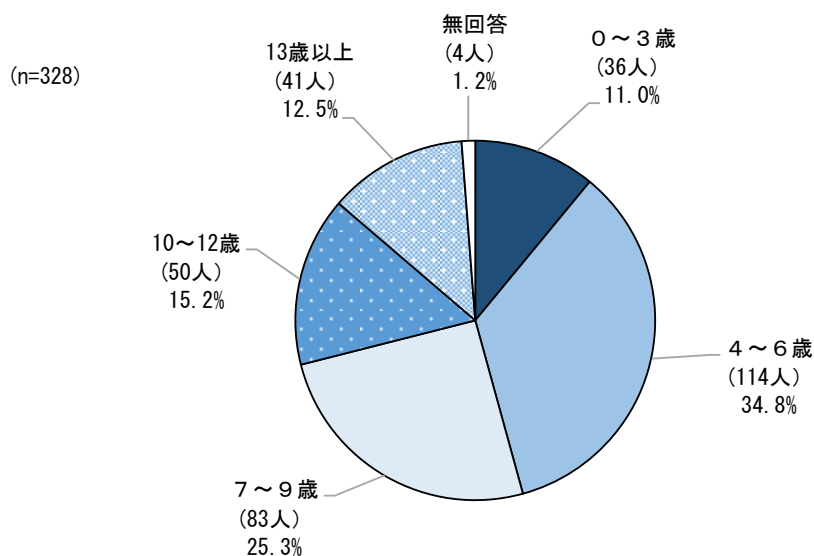
アンケートの記入者について、「母親」が82.9%、「父親」が16.2%となっています。



## (3) 子どもの年齢

**問3** 対象のお子さんの生年月について、数字を入れてください。 数値記入

子どもの年齢について、「4～6歳」が34.8%で最も多く、次いで「7～9歳」が25.3%、「10～12歳」が15.2%となっています。



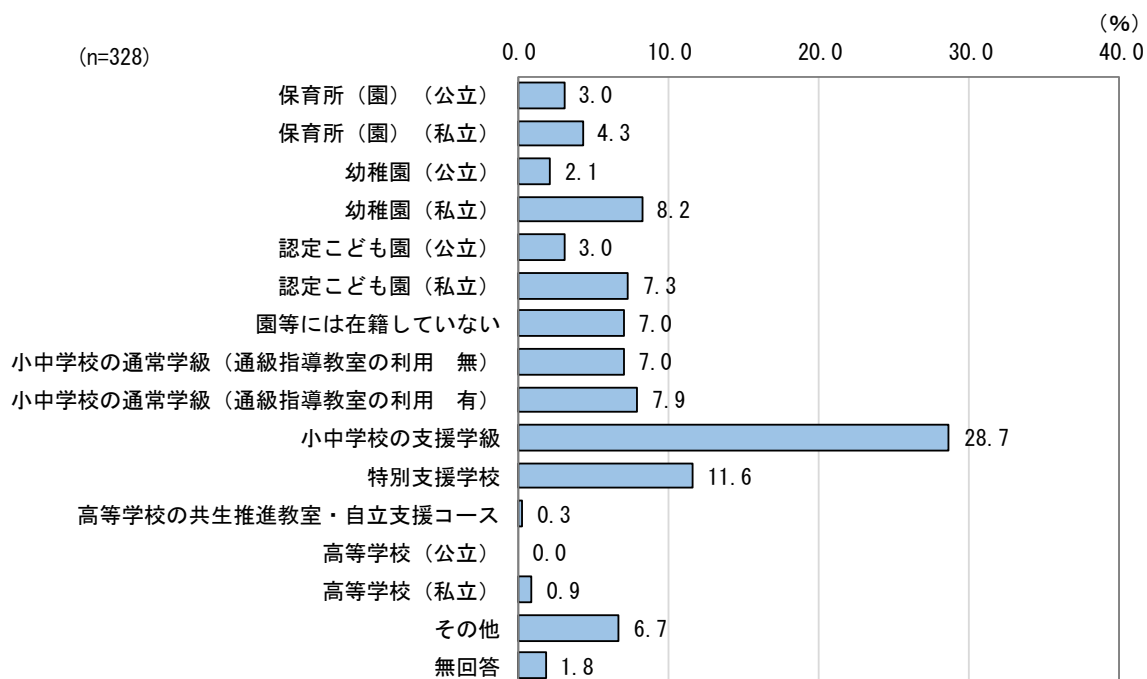
## (5) 子どもの所属先

問5

対象のお子さんの所属先についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

○は1つだけ

子どもの所属先について、「小中学校の支援学級」が28.7%で最も多く、次いで「特別支援学校」が11.6%、「幼稚園（私立）」が8.2%となっており、「その他」の内容として「あけぼの学園（療育園）」「すくすく親子教室」「支援高校」などがありました。

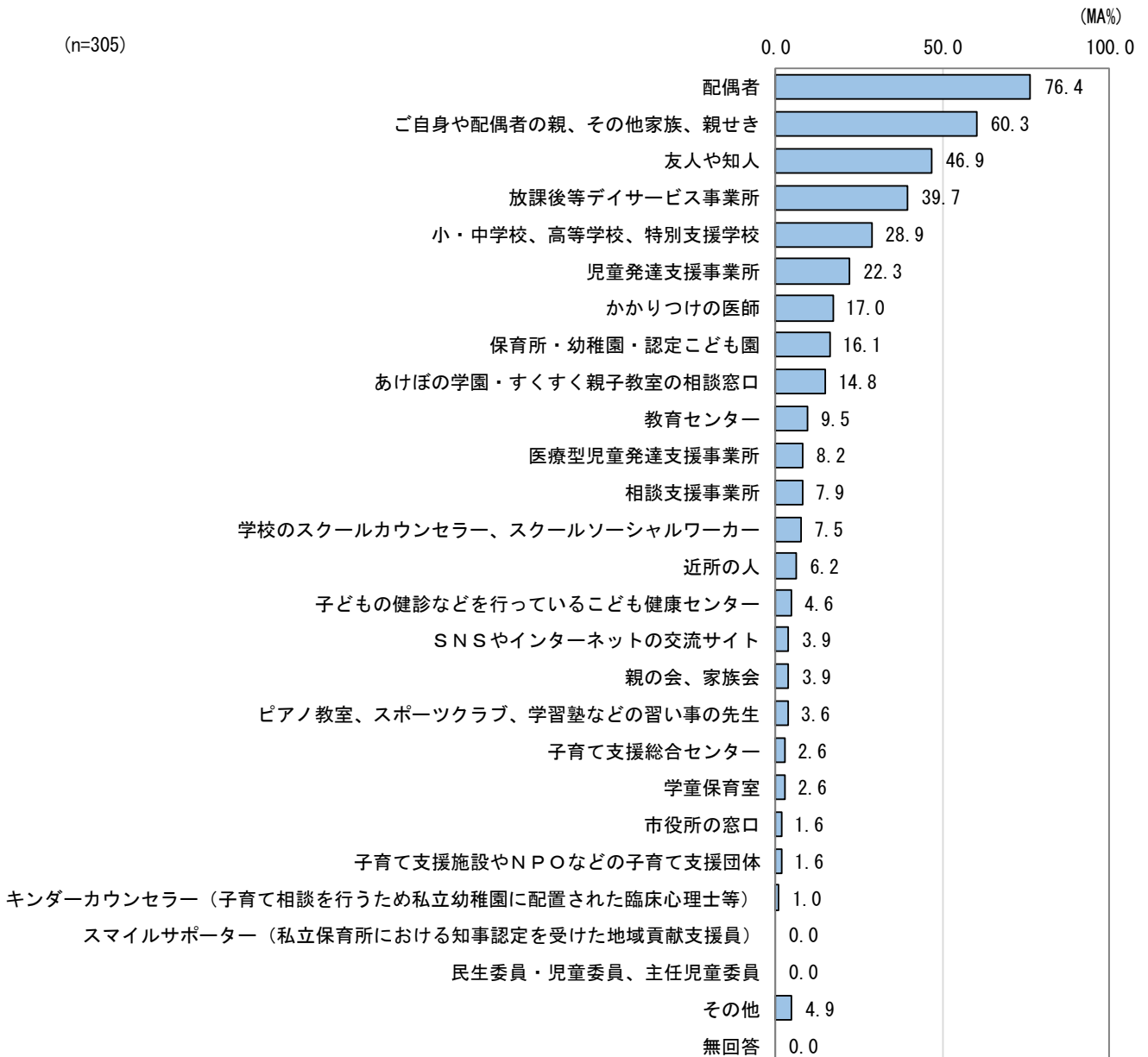


## 2 相談

### (2) 気軽に相談できる相手や場所

問9-1	問9で「いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	○はいくつでも
------	--	---------

子どもの子育てや教育を気軽に相談できる人がいる人に、気軽に相談できる人や場所などについてたずねたところ、「配偶者」が76.4%で最も多く、次いで「ご自身や配偶者の親、その他家族、親せき」が60.3%、「友人や知人」が46.9%となっており、「その他」の内容として「訪問看護師」「カウンセラー」「療育園」などがありました。

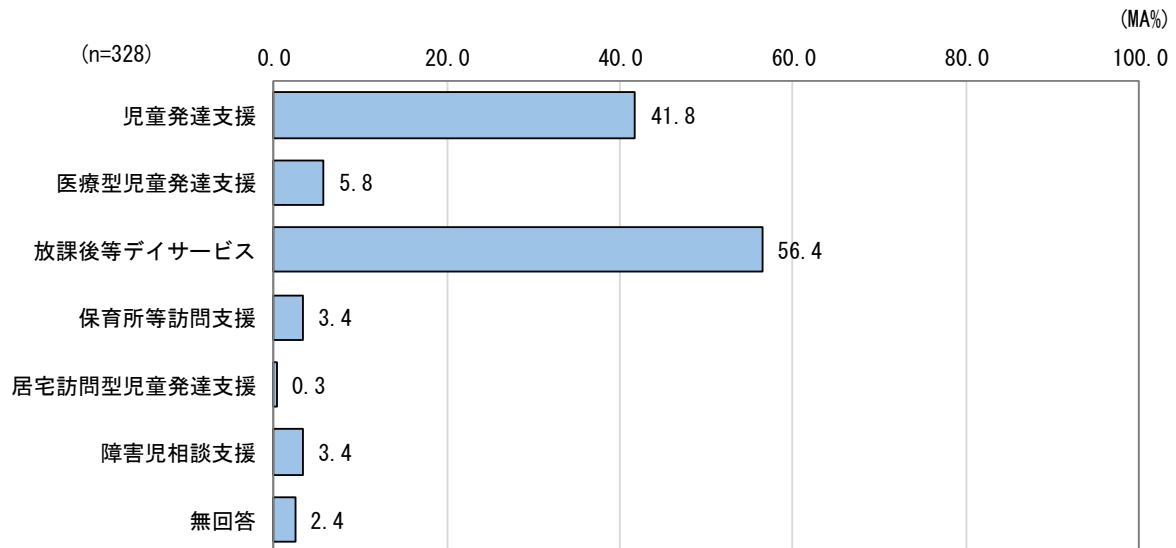


## 4 通所サービス等の利用

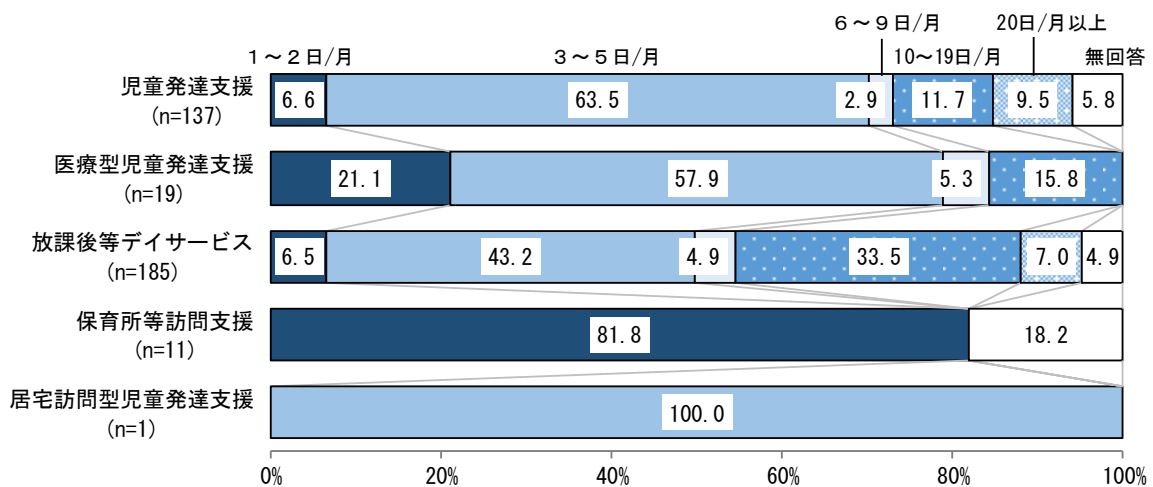
### (1) 現在利用しているサービス

**問 13** 現在利用しているサービスの番号すべてに○をつけてください。また、利用しているサービスの利用日数をご記入ください。 ○はいくつでも

現在利用しているサービスについて、「放課後等デイサービス」が56.4%で最も多く、次いで「児童発達支援」が41.8%、「医療型児童発達支援」が5.8%となっています。



サービスを利用している人に、1か月あたりの利用日数についてたずねたところ、「児童発達支援」では「3～5日/月」が63.5%で最も多く、「医療型児童発達支援」では「3～5日/月」が57.9%で最も多く、「放課後等デイサービス」では「3～5日/月」が43.2%で最も多く、「保育所等訪問支援」では「1～2日/月」が81.8%で最も多くなっています。



※「0.0」は省略しています。

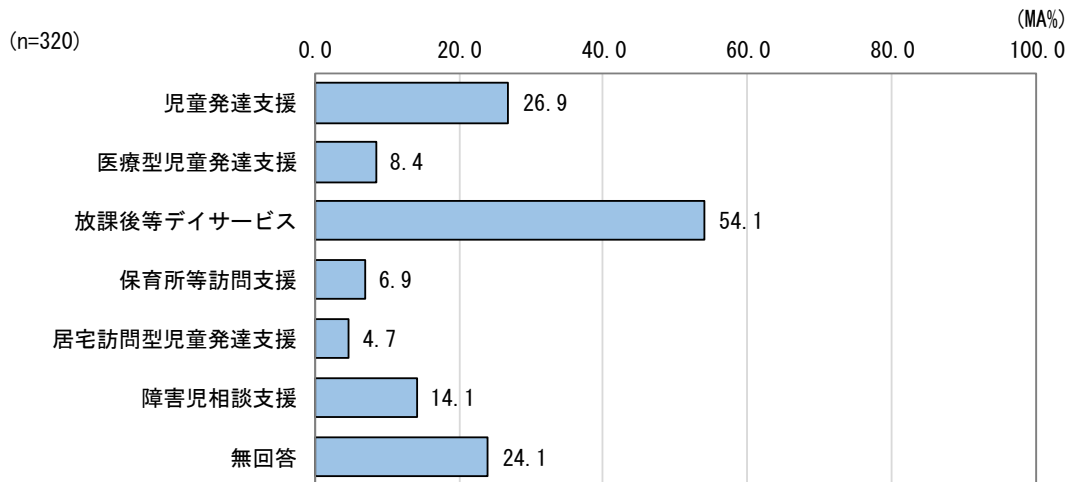
## (2) 今後利用したいサービス

問 13-1

下記のサービスで今後、利用したいと思うものはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

○はいくつでも

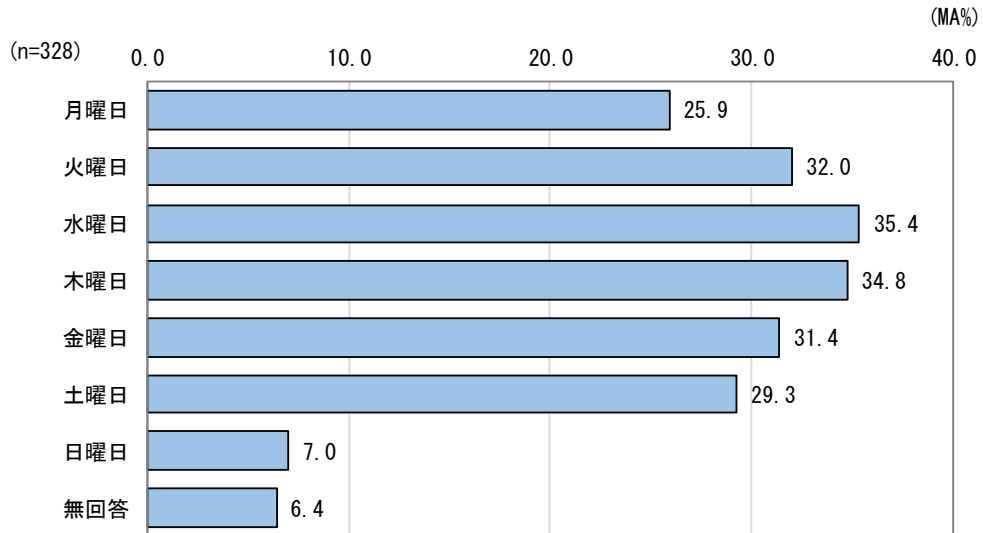
今後利用したいと思うサービスについて、「放課後等デイサービス」が54.1%で最も多く、次いで「児童発達支援」が26.9%、「障害児相談支援」が14.1%となっています。



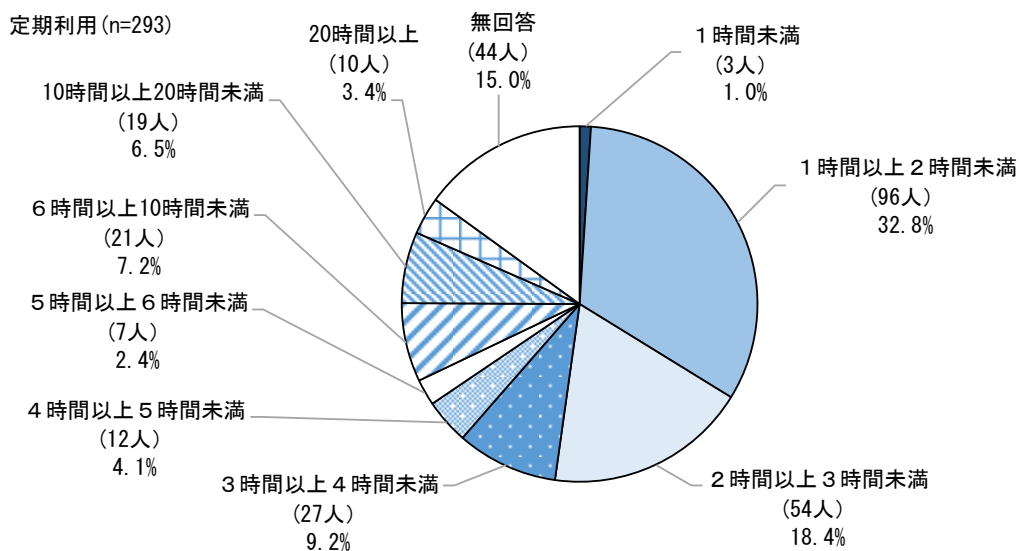
## (5) 通所サービス等の利用日・利用時間

**問 16** 現在利用中の通所サービス等の利用日、利用時間についておうかがいします。 ○はいくつでも数値記入

現在利用中の通所サービス等を利用している曜日について、「水曜日」が 35.4%で最も多く、次いで「木曜日」が 34.8%、「火曜日」が 32.0%となっています。



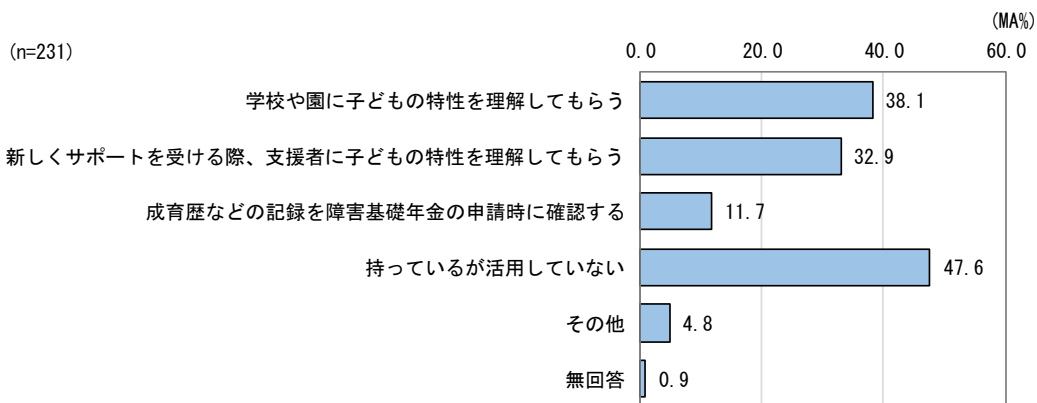
現在利用中の通所サービス等を利用している時間・日について、定期に利用している場合は、「1時間以上2時間未満」が 32.8%で最も多く、次いで「2時間以上3時間未満」が 18.4%、「3時間以上4時間未満」が 9.2%となっています。



## (2) いばらきっ子ファイルの活用状況

問 29	問 28 の「いばらきっ子ファイル」について、「知っていますか」又は「これまでに利用したことがありますか」で「はい」を選ばれた方におうかがいします。「いばらきっ子ファイル」をどのように活用しましたか（又は活用する予定ですか）。あてはまる番号すべてに○をつけてください。	○はいくつでも
------	--	---------

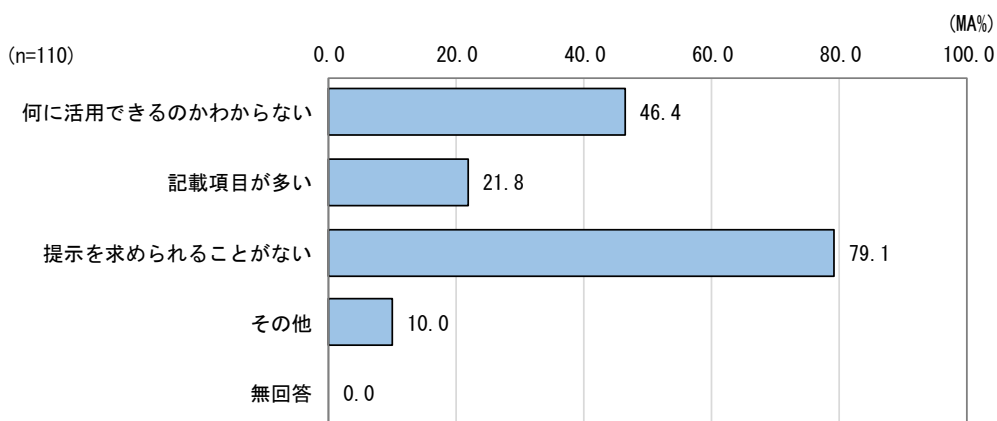
「いばらきっ子ファイル」を知っている（これまで利用したことがある）人に、どのように活用する予定（活用した）かについてたずねたところ、「持っているが活用していない」が47.6%で最も多く、次いで「学校や園に子どもの特性を理解してもらう」が38.1%、「新しくサポートを受ける際、支援者に子どもの特性を理解してもらう」が32.9%となっており、「その他」の内容として「メモ、記録として」「発達に関する資料」「他で記入する必要があったため」などがありました。



## (3) いばらきっ子ファイルを活用していない理由

問 29-1	問 29 で「持っているが活用していない」を選ばれた方におうかがいします。持っているが活用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。	○はいくつでも
--------	---	---------

「いばらきっ子ファイル」を持っているが活用していない人に、その理由についてたずねたところ、「提示を求められることがない」が79.1%で最も多く、次いで「何に活用できるのかわからない」が46.4%、「記載項目が多い」が21.8%となっており、「その他」の内容として「面倒くさい」「他で代用できる、または別で記録している」「使いづらい」などがありました。



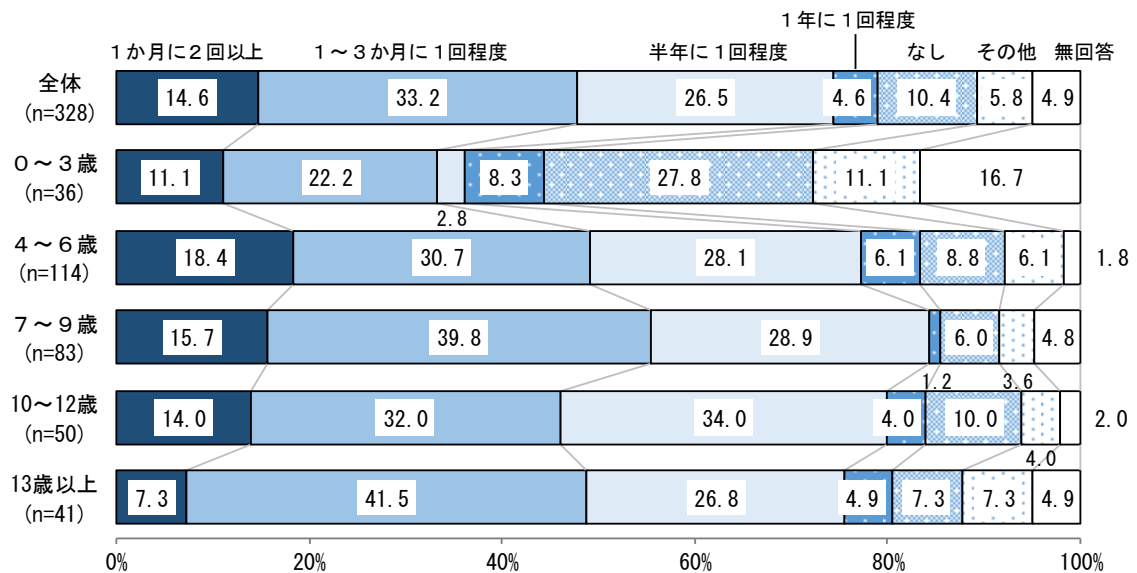
## (5) 話し合いや情報の共有等の状況

問 31	所属先（園や学校等）と利用しているサービス事業所（児童発達支援や放課後等デイサービス等）とのお子さんの支援のための話し合いや情報の共有等についておうかがいします。それぞれの項目について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	○は1つだけ
------	---	--------

### ①保護者と所属先

保護者と所属先との子どもの支援のための話し合いや情報の共有等について、「1～3か月に1回程度」が33.2%で最も多く、次いで「半年に1回程度」が26.5%、「1か月に2回以上」が14.6%となっており、「その他」の内容として「都度、必要な時」「学期末」などがありました。

子どもの年齢別で見ると、「0～3歳」では「なし」が27.8%で最も多く、「4～6歳」では「1～3か月に1回程度」が30.7%で最も多く、「7～9歳」では「1～3か月に1回程度」が39.8%で最も多く、「10～12歳」では「半年に1回程度」が34.0%で最も多く、「13歳以上」では「1～3か月に1回程度」が41.5%で最も多くなっています。

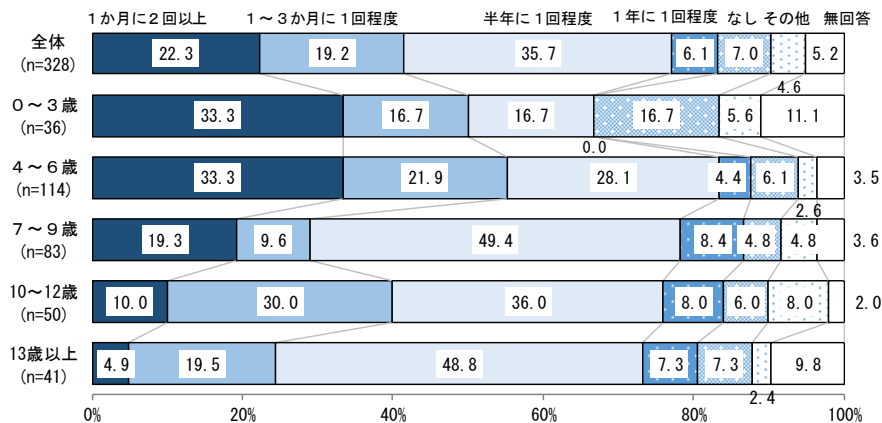




## ②保護者と事業所

保護者と利用しているサービス事業所との子どもの支援のための話し合いや情報の共有等について、「半年に1回程度」が35.7%で最も多く、次いで「1か月に2回以上」が22.3%、「1～3か月に1回程度」が19.2%となっており、「その他」の内容として「都度、必要な時」などがありました。

子どもの年齢別で見ると、「0～3歳」では「1か月に2回以上」が33.3%で最も多く、「4～6歳」では「1か月に2回以上」が33.3%で最も多く、「7～9歳」では「半年に1回程度」が49.4%で最も多く、「10～12歳」では「半年に1回程度」が36.0%で最も多く、「13歳以上」では「半年に1回程度」が48.8%で最も多くなっています。



## ③所属先と事業所

所属先と利用しているサービス事業所との子どもの支援のための話し合いや情報の共有等について、「なし」が59.1%で最も多く、次いで「その他」が12.5%、「1年に1回程度」が10.7%となっており、「その他」の内容として「分からない、知らない」「数年に1回」「都度、必要な時」などがありました。

子どもの年齢別で見ると、いずれも「なし」が最も多く、「0～3歳」が47.2%、「4～6歳」が59.6%、「7～9歳」が65.1%、「10～12歳」が56.0%、「13歳以上」が58.5%となっています。

